

卷 末 資 料

卷末資料 1

用語解説

【あ行】

温室効果ガス

大気中の二酸化炭素（CO₂）やメタン（CH₄）などのガスは太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きがある。これらのガスを温室効果ガスといい、「地球温暖化対策の推進に関する法律」では、二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、ハイドロフルオロカーボン類（HFCs）、パーフルオロカーボン類（PFCs）、六フッ化硫黄（SF₆）、三フッ化窒素（NF₃）の7種類としている。

エコドライブ

ゆるやかな発進や一定速度での走行等、車の燃料消費量や二酸化炭素（CO₂）排出量を減らすための環境に配慮した運転方法のこと。

【か行】

カーシェアリング

自分の車を持たずに必要な時に使用目的に合った車を自家用車と同じように手軽に共同利用するシステム。利用時間や回数に応じた料金設定による適正な利用、車の共有による資源消費の効率化といった環境保全上の効果がある。

化石燃料

石油、石炭、天然ガスなどのこと。微生物の死骸や枯れた植物などが何億年という時間をかけて化石になり、やがて石油や石炭になったと考えられていることからこう呼ばれる。

家庭用燃料電池（エネファーム）

都市ガス・LP ガス・灯油などを使って発電する家庭用の機器のこと。発電時に出る熱は給湯に利用され、火力発電による電気とガス給湯器を組み合わせる場合よりも、二酸化炭素排出量が減るとされている。

カーボンニュートラル

何かを生産するといった、一連の人為的活動を行った際に、二酸化炭素（CO₂）の排出量と吸収量とがプラスマイナスゼロの状態になることを指す。

コージェネレーションシステム

ガスや石油等を燃料として、エンジン、タービン、燃料電池等の方式により発電し、その際に生じる廃熱を回収することで、電力と熱をともに供給するシステムの総称。

国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会議(COP21)

大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させることを究極の目標として、1992（平成 4）年に採択された「国連気候変動枠組条約」に基づき、1995（平成 7）年から毎年開催されている年次会議のこと。2015（平成 27）年に開催された COP21 では、温室効果ガス排出量削減目標の策定義務化など法的拘束力のある国際的な合意文書パリ協定が採択された。

【さ行】

再生可能エネルギー

エネルギー源として持続的に利用することができる再生可能エネルギー源を利用することにより生じるエネルギーの総称。
具体的には、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、バイオマスなどを指す。

次世代自動車

次世代自動車は、ハイブリッド自動車、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車などのことをいう。地球温暖化の原因となる CO2 の排出が少ない、又は全く排出しない、あるいは燃費性能が優れているなどの環境にやさしい自動車。

持続可能な開発目標（SDGs）

2015（平成 27）年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された 2016（平成 28）年から 2030（令和 12）年までの国際目標であり、開発途上国の開発に関する課題にとどまらず、世界全体の経済、社会及び環境の三側面を、不可分のものとして調和させる統合的取組として作成された。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っている。

循環型社会

天然資源の消費量を減らして、環境負荷をできるだけ少なくした社会のこと。従来の「大量生産・大量消費・大量廃棄型社会」に代わり、今後目指すべき社会像として、2000（平成 12）年に制定された「循環型社会形成推進基本法」で定義されている。

自立・分散型エネルギー

再生可能エネルギー等の供給や地域コミュニティでの効率的な電力・熱融通を実現することで、災害時に電力供給が停止した場合においても、地域で自律的にエネルギーを確保できるシステム。

森林吸収量

森林の樹木は、光合成によって二酸化炭素（CO₂）を吸収し、炭水化物として炭素（C）を固定し酸素（O₂）を放出しているが、同時に呼吸によって炭水化物を燃焼させ、二酸化炭素を放出している。このため、光合成による吸収量が呼吸による放出分を上回った分が樹木の成長量として二酸化炭素の吸収に貢献しているといえる。

ソーラーシェアリング

農地に支柱等を立てて、その上部に設置した太陽光パネルを使って日射量を調節し、太陽光を農業生産と発電とで共有する取組のこと。営農を続けながら、農地の上部空間を有効活用することにより電気を得ることができるので、農業経営をサポートするというメリットがある。

【た行】

脱炭素化

地球温暖化の原因となっている二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を防ぐために、石油や石炭などの化石燃料からの脱却を目指すこと。

地域循環共生圏

各地域が足元にある地域資源を最大限活用しながら、自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、環境・経済・社会が統合的に循環し、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方である。

地球温暖化

人の活動の拡大によって、二酸化炭素（CO₂）などの温室効果ガスの濃度が上がり、地表面の温度が上昇すること。近年、地球規模での温暖化が進み、海面上昇や干ばつなどの問題を引き起こし、人や生態系に大きな影響を与えることが懸念されている。

地球温暖化対策計画

2021（令和 3）年 10 月に閣議決定された計画では、IPCC「1.5℃特別報告書」を受けて、世界の平均気温の上昇を工業化以前の水準よりも 1.5℃に抑えるための努力を追求することが世界的に急務であることから、日本においても 2050（令和 32）年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、「2050 年カーボンニュートラル」の実現を目指すとしている。「2050 年目標と整合的で野心的な目標として、2030 年度に温室効果ガスを 2013 年度から 46%削減することを目指し、さらに、50%の高みに向けて挑戦を続けていく」ことを掲げている。

蓄電池

二次電池とも呼ばれ、繰り返し充電して使用できる電池のこと。スマートフォンのバッテリー等に使われているほか、近年は新エネルギー設備と併用し、発電した電力を溜める家庭用蓄電池等が普及している。

地中熱

地表から 200 メートルほど地下の比較的低温の熱のこと。一般的な地熱が火山活動による地球内部の熱を指すのに対し、地中熱は太陽光により発生する低温の熱のことをいう。地下 10 メートルを超えると地中の温度は季節を通して安定しており、夏は外気温より温度が低く、冬は外気温より温度が高いという特徴を持っている。

デマンドタクシー

電話予約に基づいて、自宅周辺から目的地まで他の乗客と乗り合いながら送迎するタクシーによる新たな公共交通形態のこと。

電力排出係数

電気事業者が販売した電力を発電するためにどれだけの二酸化炭素（CO₂）を排出したかを推し測る指標で、「実二酸化炭素排出量÷販売電力量」で算出される。

【な行】

燃料電池

「水素」と「酸素」を化学反応させて、直接「電気」を発生させる装置。燃料電池の燃料となる水素は、天然ガスやメタノールから作るのが一般的で、酸素は、大気中から取り入れる。また、発電と同時に熱も発生するので、その熱を活かすことでエネルギーの利用効率を高められる。

【は行】

バイオマス

動植物から生まれた再生可能な有機性資源のことで、代表的なものに、家畜排泄物や生ごみ、木くず、もみガラ等がある。バイオマスは燃料として利用されるだけでなく、エネルギー転換技術により、エタノール、メタンガス、バイオディーゼル燃料などを作ることができ、これらを軽油等と混合して使用することにより、化石燃料の使用を削減できるため、地球温暖化防止に役立てることができる。

バックカスティング

未来の姿から逆算して現在の施策を考える発想を「バックカスティング」、それに対して現状からどんな改善ができるかを考えて、改善策をつみあげていくような考え方を「フォアカスティング」という。

パリ協定

2020（令和 2）年以降の気候変動問題に関する国際的な枠組であり、1997（平成 9）年に定められた「京都議定書」の後継に当たる。京都議定書と大きく異なる点としては、途上国を含むすべての参加国に、排出削減の努力を求めている点である。

【ま行】

「見える化」

電力をはじめとするエネルギーの消費量を数値として表示・共有できるようにすること。エネルギーの使用状況をリアルタイムで把握・分析することで省エネすべきポイントが明確になることで、効果的な取組みにつながり、一人ひとりの省エネに対する意識を向上させることができる。

未利用間伐材

間伐や主伐により伐採された木材のうち、未利用のまま林地に残置されている間伐材や枝条等。国内の森林で毎年約 2,000 万 m³ 発生している。

木質バイオマス

木材など植物系の生体のことを指す。植物は環境中の二酸化炭素を吸収し成長するため、それを石炭、石油などの化石燃料の代替エネルギー源として用いれば、飛躍的に二酸化炭素発生量を減らすことができる。

【アルファベット】

BEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）

「Building Energy Management System」の略称であり、ビルエネルギー管理システムのこと。設備の運転状況やエネルギー消費を可視化し、ビルの省エネ化や運用面の効率化に役立つ。

ESG金融制度

ESG 金融とは、長期的な成長が見込める企業を、環境（Environment）社会（Social）ガバナンス（Governance）の3つの非財務情報から考慮し、投融資行動をとる取り組みのこと。ESG投資とは文字通り、ESG に配慮した経営を行う企業に投資することで、売上高や利益、保有財産などの財務情報だけではなく、ESG への取組状況という非財務情報の要素も考慮した投資のことを指す。

FEMS（工場エネルギー管理システム）

「Factory Energy Management System」の略称であり、工場全体のエネルギー消費を削減するため、受配電設備のエネルギー管理や生産設備のエネルギー使用・稼働状況を把握し、見える化や各種機器を制御するためのシステムのこと。

FIT制度（固定価格買取制度）

「再生可能エネルギーの固定価格買取制度（Feed-in Tariff）」のことを指す。一般家庭や事業者が再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が買い取ることを国が約束する制度。発電方法や電力量によって定められた期間中は、単価を変えることなく電力会社が買い取ることが義務付けられている。

HEMS（ホーム エネルギー マネジメント システム）

「Home Energy Management System」の略称であり、家庭におけるエネルギー管理システムのことを指します。BEMSと同様に、家庭の省エネ化に役立つシステム。

V2H

「Vehicle to Home」の略称であり、EV や PHV の大容量バッテリーを家庭で有効活用するためのシステムや考え方を指す。専用のV2H機器を介して、昼間発電した電気をEVやPHVの大容量バッテリーに電気を蓄えることで、夜間に家庭へ給電したりすることができる。

PDCA サイクル

PDCA サイクルとは、Plan（計画）・Do（実行）・Check（評価）・Act（改善）を繰り返すことによって、生産管理や品質管理などの管理業務を継続的に改善していく手法のこと。

PPA モデル

「Power Purchase Agreement（電力販売契約）モデル」の略。電力の需要家がPPA 事業者に敷地や屋根などのスペースを提供し、PPA 事業者が太陽光発電システムなどの発電設備の無償設置と運用・保守を行う。また同時に、PPA 事業者は発電した電力の自家消費量を検針・請求し、需要家側はその電気料金を支払う。

REPOS

「Renewable Energy Potential System(再生可能エネルギー情報提供システム)」の略称であり、日本の再生可能エネルギー導入ポテンシャルやその考え方、その他再生可能エネルギー導入促進のための情報を提供している。

V2H

「Vehicle to Home」の略称であり、EV や PHV の大容量バッテリーを家庭で有効活用するためのシステムや考え方を指す。専用の V2H 機器を介して、昼間発電した電気を EV や PHV の大容量バッテリーに電気を蓄えることで、夜間に家庭へ給電したりすることができる。

ZEB（ゼブ）（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）

ビルの快適な室内環境を保ちながら、高断熱化・日射遮へい・自然エネルギー利用・高効率設備などによる省エネと、太陽光発電などによる創エネにより、年間で消費する一次エネルギー消費量がゼロ、あるいは概ねゼロとなる建築物のこと。

ZEH（ゼッチ）（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）

外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅。

巻末資料 2-1

アンケート調査票(市民アンケート)

「伊予市の環境」と「地球温暖化対策」に関するアンケート調査のお願い

市民の皆様には、日頃から伊予市の市政運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、将来にわたって持続可能な社会を構築するため、「伊予市環境基本計画」、「伊予市地球温暖化対策実行計画」、「伊予市再生可能エネルギー導入戦略」の策定を現在進めており、今後はあらゆる主体との協働と連携を図りながら、各種の施策・事業を推進してまいります。

このアンケートは、皆様が環境について日頃感じられていることやご意見などをお聞きし、計画策定の参考にさせていただくため、市内にお住まいの 1,500 名の方を無作為に抽出してアンケート調査のご協力をお願いするものです。

ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

令和 4 年 7 月

伊予市長 武智 邦典

◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和 4 年 7 月 24 日（日）までにご投函ください。

◎アンケート調査票及び返信用封筒に氏名・住所をご記入いただく必要はありません。

◎この調査結果は、本目的にのみ使用いたします。調査結果はすべて統計的処理を行いますので、個人が特定されることはありません。調査結果については、本市ホームページで公表いたします。

※パソコン・スマートフォンから、インターネットで回答できます。

<https://rsch.jp/d4e96114a9618935/login.php>

1. パソコンからは、ブラウザ URL 欄に上記の URL を入力してアクセスできます。
2. スマートフォンからは、右記の二次元コードを読み取ってアクセスできます。
3. 回答の際は、以下の「ID」・「パスワード」を入力してください。

※「ID」・「パスワード」から個人が特定されることはありません。

I D :

パスワード :

4. インターネットで回答をしていただきましたら、調査票の返送は必要ありません。



（スマートフォン用）

【お問い合わせ先】伊予市 産業建設部 環境政策課

電話：089-909-6338 （月曜日～金曜日 午前 8 時 30 分～午後 5 時）



問1 あなたご自身のことについてお尋ねします。項目ごとにあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

項目	選択肢		
性別	1. 男性		2. 女性
年齢	1. 20～29 歳	2. 30～39 歳	3. 40～49 歳
	4. 50～59 歳	5. 60～69 歳	6. 70 歳以上
居住地域 (小学校区)	1. 南山崎小学校区	2. 北山崎小学校区	3. 郡中小学校区
	4. 伊予小学校区	5. 中山・佐礼谷小学校区	6. 由並・翠・下灘小学校区
	7. 小学校区が分からない場合は、住所の字まで記入してください 伊予市_____ (例) 伊予市 米湊_____		
家族構成	1. 単身 2. 夫婦のみ 3. 2世代 4. 3世代 5. その他 ()		
居住形態	1. 持ち家 (一戸建て)		2. 持ち家 (アパート・マンション等)
	3. 民間賃貸住宅 (一戸建て)		4. 民間賃貸住宅 (アパート・マンション等)
	5. 社宅、公営住宅 (市営住宅等)		6. その他 ()
居住年数	1. 3 年未満	2. 3～5 年	3. 6～10 年
	4. 11～15 年	5. 16～20 年	6. 21 年以上

問2 伊予市の環境に関する各項目について充実希望度・現時点の満足度についてお尋ねします。項目ごとに最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

充実希望度・満足度 項目		充実希望度					満足度				
		充実させてほしい	やや充実させてほしい	どちらともいえない	あまり希望しない	希望しない	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
(例) それぞれ該当する番号を○で囲む→		⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
空気や水のきれいさ	1 大気汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな空気が確保されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	2 土壌汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな土や地下水が確保されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	3 豊かな自然環境の保全に向けて、身近な緑が保全・再生されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	4 水質汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな川や海が確保されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	5 放射性物質による環境汚染がなく、生活環境が保全されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

充実希望度・満足度 項 目		充実希望度					満足度				
		充実に させてほしい	やや充実に させてほしい	どちらとも いえない	あまり希望 しない	希望しない	満足して いる	まあ満足 している	どちらとも いえない	やや不満 である	不満である
(例) それぞれ該当する番号を○で囲む→		⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
快適さ、 緑、 景観、 農水産との 共存	6 廃棄物の発生抑制及び減量・資源化が推進され、循環型社会が形成されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	7 家庭における食品ロスや、事業者における食品廃棄物の削減が推進されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	8 エコバッグの活用や過剰梱包の防止など、プラスチックごみの削減に向けた取組が定着している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	9 騒音・振動・悪臭の防止に向けた取組が推進され、快適な生活環境が確保されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	10 公園や緑地など新たに緑が創出され、潤いのある生活環境が確保されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	11 伊予市ならではの景観を保全するとともに、良好な景観が形成されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
里山・ 生物多様性	12 安全・安心な食を身近で確保するための地産地消が実践されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	13 水と緑が調和した自然空間があり、四季折々の自然環境が形成されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
文化、 環境教育、 活動	14 多様な生物の生息・生育環境の保全のため、今ある自然環境への配慮が十分なされ、都市環境・居住環境と豊かな自然とが調和している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	15 文化財や優れた歴史的な遺産が適切に保全されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	16 学校や地域、事業所などあらゆる社会の中で、環境教育・環境学習が推進され、環境を意識した行動が広がっている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
地球温暖化 対策	17 より多くの市民・事業者が環境への関心と意識を高く持つことで、さまざまな環境保全活動と環境美化活動が展開されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	18 地球温暖化対策について、市民・事業者・行政の力を活かした地域からの行動が進められている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	19 環境に優しい都市システムによる脱炭素社会が創造されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	20 エネルギーの地産地消を見据えた再生可能エネルギー※1の活用とマネジメントが行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	21 環境への負荷を低減し、未来へつなげる循環型社会が実現されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	22 市民や事業者をけん引する行政の率行的取組が推進されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	23 地球温暖化対策の取組に民間事業者を誘導する仕組みが実現されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

※1 再生可能エネルギー・・・太陽光や風力など、常に自然界に存在する環境や資源を利用するエネルギーのこと。

問3 日頃行っている環境保全の取組についてお尋ねします。項目ごとに最もあてはまる番号を 1つ選んで○で囲んでください。該当する機器を保有していない等の場合は、「該当しない」に○をつけてください。

関 心		いつもしている	ときどきしている	現在はしていないが 今後はしたい	現在はしていないし 今後もしたくない	該当しない
項 目						
(例) それぞれ該当する番号を○で囲む→		①	2	3	4	5
リビング	1. 不要な照明はこまめに消灯している	1	2	3	4	5
	2. テレビを見ていないときはこまめに消している	1	2	3	4	5
	3. エアコンの温度調節をしている (冷房 28℃、暖房 20℃)	1	2	3	4	5
	4. エアコンのフィルター掃除をしている	1	2	3	4	5
キッチン	5. 季節に合わせて冷蔵庫内の温度を調節している	1	2	3	4	5
	6. 冷蔵庫内に物を詰め込みすぎないようにしている	1	2	3	4	5
	7. 冷蔵庫の扉の開閉回数・開閉時間を短くしている	1	2	3	4	5
	8. 冷蔵庫は壁から適切な間隔をあけて設置している	1	2	3	4	5
	9. ガスコンロの火は、なべ底からはみ出さないように調節している	1	2	3	4	5
	10. IH クッキングヒーターはなべ底の水滴をよく拭き取ってから使用している	1	2	3	4	5
	11. 炊飯器や電気ポットの保温時間はなるべく短くしている	1	2	3	4	5
浴室・洗面所	12. シャワーを流しっぱなしにせず、使用時間を短くしている	1	2	3	4	5
	13. 温水洗浄便座の温度設定を低めにしている	1	2	3	4	5
	14. 風呂は、間隔をあけずに入るようにしている (追い焚きをしないようにしている)	1	2	3	4	5
車	15. 近距離の移動はなるべく歩きや自転車を使っている	1	2	3	4	5
	16. 運転するときは、エコドライブを心がけている (急発進、急加速をしないようにしている)	1	2	3	4	5
	17. 駐停車をするときは、エンジンを切っている	1	2	3	4	5
その他	18. 電気製品を使わないときは、コンセントからプラグを抜いている	1	2	3	4	5
	19. 買い物に行くときは、マイバッグを使用している	1	2	3	4	5
	20. 地元で作られた食材を購入している	1	2	3	4	5

問4 問3にあるような環境保全の取組を実施するために、支障があると感じるものは何ですか。最もあてはまる番号を 1つ選んで○で囲んでください。「7. その他」を選択された場合は、かつこ内に具体的にご記入ください。

1. 生活習慣だから変えにくい
2. 手間がかかる
3. 費用がかかる
4. 日常生活が不便になる
5. 取組を行っても効果が分からない、あるいは実感がわからない
6. どのような取組をすれば良いのか分からない
7. その他（ ）

問5 省エネ設備や再生可能エネルギー（以下、再エネ）の導入状況についてお尋ねします。項目ごとに最もあてはまる番号を 1つ選んで○で囲んでください。

項 目	導入済み	導入検討中 (予定含む)	導入予定はないが、 関心はある	導入予定はなく、 関心もない
① 住宅用太陽光発電システムの導入	4	3	2	1
② 屋根や壁面、窓は、断熱性や気密性が高いものを使用	4	3	2	1
③ エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯機の導入	4	3	2	1
④ 家庭用燃料電池システム（エネファーム）の設置	4	3	2	1
⑤ 蓄電池の導入	4	3	2	1
⑥ 電力消費や待機電力の少ない家電製品への買い替え	4	3	2	1
⑦ LED など高効率照明の導入	4	3	2	1
⑧ 排出ガスが少なく燃費の良い自動車への買い替え	4	3	2	1
⑨ 電気自動車（EV）の導入	4	3	2	1
⑩ 燃料電池自動車（FCV）の導入	4	3	2	1
⑪ 屋上緑化や壁面緑化、緑のカーテンなど建物の緑化	4	3	2	1
⑫ 家庭ごみの減量のため、電動生ごみ処理機、生ごみ処理器（コンポスト容器、キエーロ等）の活用	4	3	2	1
⑬ 雨水貯留槽の設置	4	3	2	1
⑭ HEMS※ ² の導入	4	3	2	1
⑮ 既存住宅のZEH※ ³ 化	4	3	2	1

※2 HEMS・・・Home Energy Management System（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）の略。電力使用量の可視化や機器制御等、家庭内のエネルギー管理を一元的に行うシステムのこと。

※3 ZEH・・・Net Zero Energy House（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の略。室内環境を維持しつつ大幅な省エネルギーの実現や再生可能エネルギーの導入により、年間のエネルギー収支をゼロとすることを目指した住宅のこと。

問6 今後の伊予市が行う様々な環境行政施策についてお伺いします。行政が、特に優先して取り組むべき施策は、何だとお考えですか。特にあてはまる番号を3つまで選んで○で囲んでください。「19. その他」を選択された場合は、カッコ内に具体的にご記入ください。

- | | | | |
|----|-------------------------|----|-----------------|
| 1 | 大気汚染の防止 | 2. | 土壌汚染の防止 |
| 3 | 地下水の汚染防止 | 4. | 自然の緑地や水辺の保護・保全 |
| 5 | 河川・海等の水質汚濁の防止 | 6. | ごみの減量化・資源化 |
| 7 | 騒音・振動・悪臭の防止 | 8. | 公園等の街なみの緑化 |
| 9 | 農水産物の地産地消の推進 | 10 | 生物多様性の保全 |
| 11 | 環境教育の推進 | 12 | 環境保全活動・美化活動の推進 |
| 13 | エネルギーの地産地消 | 14 | 再エネの導入促進 |
| 15 | 環境にやさしい交通手段の整備 | 16 | 省エネルギー設備の導入促進 |
| 17 | 地球温暖化への適応 ^{※4} | 18 | 環境施策の情報提供・PRの充実 |
| 19 | その他（ | ） | |

問7 再エネの利用方法についてお尋ねします。今後、伊予市において再エネを推進していく場合、どのような導入方法を望まれますか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

1. 個人の住宅に導入して自家消費する
2. 役所や電気事業者主体で地域に導入し、得られたエネルギーを個人が購入する
3. 個人での利用より、公共施設などで地域として利用していく
4. 再エネの利用にあまり関心がない

問8 問7で「**1. 個人の住宅に導入して自家消費する**」を選んだ方にお尋ねします。再エネの導入に際し、伊予市に期待する支援はなんですか。あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください。「6. その他」を選択された場合は、カッコ内に具体的にご記入ください。

1. 設備の設置や維持管理にかかる費用の補助
2. 設備の老朽化や破損時の対応に関する情報提供
3. 再エネ施工事業者などに関する情報提供
4. 個人での再エネ導入事例やコストに関する情報提供
5. 再エネの種類（発電や熱利用、太陽光パネルによる違いなど）に関する情報提供
6. その他（

※4 適応・・・温室効果ガスの増加によって進む気候変動（地球温暖化や降水パターンの変化など）には様々な影響（猛暑による熱中症や集中豪雨による浸水被害の増加など）が伴い、このような既に起こりつつある気候変動による影響に備えること（例えば、「浸水に備えてハザードマップなどで避難経路、避難先を確認しておく」など）。

問 9 伊予市において、既に地球温暖化の影響を受けていると感じるものについてお尋ねします。あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください。

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1. コメの品質低下や収量減少 | 2. 果物の品質低下 |
| 3. 野菜の品質低下や収穫時期の変動 | 4. 河川の水量減少や水質悪化 |
| 5. 麦や大豆、飼料作物の品質低下や収量減少 | 6. 海産物の養殖業への影響 |
| 7. 食料供給力の低下 | 8. 渇水や地下水量の減少 |
| 9. 樹木の植生の変化 | 10. 市内に生息する生き物の種類の変化 |
| 11. 河川に生息する生き物の種類の変化 | 12. 海に生息する生き物の種類の変化 |
| 13. 桜などの開花時期の変化 | 14. 市内に生息する生き物の生息域の変化 |
| 15. 外来種の増加 | 16. 洪水や浸水害のリスクの増加 |
| 17. 高潮や高波のリスクの増加 | 18. 海面水位の上昇 |
| 19. 海岸線の浸食 | 20. 強風被害の増加 |
| 21. 気温上昇による病状の悪化 | 22. 熱中症リスクの増加 |
| 23. デング熱などの感染症リスクの増加 | 24. ヒートアイランド現象の進行 |
| 25. 台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 | |
| 26. 特になし | |

問 10 地球温暖化の影響について、伊予市で今後、重点的に対策していくべき事項についてお尋ねします。あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください。

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1. コメの品質低下や収量減少 | 2. 果物の品質低下 |
| 3. 野菜の品質低下や収穫時期の変動 | 4. 河川の水量減少や水質悪化 |
| 5. 麦や大豆、飼料作物の品質低下や収量減少 | 6. 海産物の養殖業への影響 |
| 7. 食料供給力の低下 | 8. 渇水や地下水量の減少 |
| 9. 樹木の植生の変化 | 10. 市内に生息する生き物の種類の変化 |
| 11. 河川に生息する生き物の種類の変化 | 12. 海に生息する生き物の種類の変化 |
| 13. 桜などの開花時期の変化 | 14. 市内に生息する生き物の生息域の変化 |
| 15. 外来種の増加 | 16. 洪水や浸水害のリスクの増加 |
| 17. 高潮や高波のリスクの増加 | 18. 海面水位の上昇 |
| 19. 海岸線の浸食 | 20. 強風被害の増加 |
| 21. 気温上昇による病状の悪化 | 22. 熱中症リスクの増加 |
| 23. デング熱などの感染症リスクの増加 | 24. ヒートアイランド現象の進行 |
| 25. 台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 | |
| 26. 特になし | |

問 1 1

- | | | |
|---------|------------|-----------|
| 1. 変更した | 2. 変更していない | 3. 知らなかった |
|---------|------------|-----------|

問 12

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. 価格 | 2. ポイント等での他サービスとの連携 |
| 3. 再エネでの発電等、環境への配慮
(電力排出係数を含む) | 4. 災害時の電力供給能力 |
| 5. 特になし | 6. その他() |

問 13

1. 学校の先生のお話 2. 地域活動を通じて 3. 友人との会話
4. 国・県・市などの広報誌 5. 新聞・雑誌・書籍 6. 家族との会話
7. テレビ・ラジオ 8. インターネット・メール配信
9. SNS（フェイスブック等） 10. その他（ ）

問 14

[illegible]

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

※ 記入漏れがないかもう一度お確かめの上、回答用紙を返信用封筒に入れ、

7月24日(日)

巻末資料 2-2

アンケート調査票(事業者アンケート)

「伊予市の環境」と「地球温暖化対策」に関するアンケート調査のお願い

事業者の皆様には、日頃から伊予市の市政運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、将来にわたって持続可能な社会を構築するため、「伊予市環境基本計画」、「伊予市地球温暖化対策実行計画」、「伊予市再生可能エネルギー導入戦略」の策定を現在進めており、今後はあらゆる主体との協働と連携を図りながら、各種の施策・事業を推進してまいります。

このアンケートは、皆様が環境について日頃感じられていることやご意見などをお聞きし、計画策定の参考にさせていただくため、市内に事業所等を有している事業者から 200 社を無作為に抽出してアンケート調査のご協力をお願いするものです。

ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

令和 4 年 7 月

伊予市長 武智 邦典

◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和4年7月24日（日）までにご投函ください。

◎アンケート調査票及び返信用封筒に事業者名・所在地をご記入いただく必要はありません。

◎この調査結果は、本目的にのみ使用いたします。調査結果はすべて統計的処理をいたしますので、事業者が特定されることはありません。調査結果については、本市ホームページで公表いたします。

※パソコン・スマートフォンから、インターネットで回答できます。

<https://rsch.jp/9f8dde6f00debfca/login.php>

1. パソコンからは、ブラウザ URL 欄に上記の URL を入力してアクセスできます。
2. スマートフォンからは、右記の二次元コードを読み取ってアクセスできます。
3. 回答の際は、以下の「ID」・「パスワード」を入力してください。

※「ID」・「パスワード」から事業者が特定されることはありません。

I D :

パスワード:

4. インターネットで回答をしていただきましたら、調査票の返送は必要ありません。



（スマートフォン用）

【お問い合わせ先】伊予市 産業建設部 環境政策課

電話：089-909-6338 （月曜日～金曜日 午前 8 時 30 分～午後 5 時）



問1 貴事業所についてお尋ねします。項目ごとにあてはまる番号を 1つ選んで○で囲んでください。

項目	選択肢
所在地域 (小学校区)	1. 南山崎小学校区 2. 北山崎小学校区 3. 郡中小小学校区 4. 伊予小学校区 5. 中山・佐礼谷小学校区 6. 由並・翠・下灘小学校区 7. 小学校区が分からない場合は、住所の字まで記入してください 伊予市 _____ (例) 伊予市 <u>米湊</u>
業種 (兼業の場合、 売上げの割合 が高いもの)	1. 農林漁業 2. 建設業 3. 製造業 4. 電気、ガス、熱供給、水道業 5. 情報通信 6. 運輸業 7. 卸売、小売業 8. 金融、保険業 9. 不動産、物品賃貸業 10. 学術研究、専門・技術サービス業 11. 宿泊業、飲食サービス業 12. 生活サービス関連業、娯楽業 13. 教育、学習支援業 14. 医療、福祉 15. 複合サービス事業 16. サービス業（他に分類されないもの） 17. 公務（他に分類されないもの）
従業員規模	1. 20人以下 2. 21～29人 3. 30～49人 4. 50～99人 5. 100～199人 6. 200～299人 7. 300人以上
事業所形態	1. 事務所・営業所 2. 工場・作業所 3. 店舗 4. その他（ _____ ）
事業所の 所有形態	1. 自社保有 2. 賃貸（建物全体） 3. 賃貸（一部） 4. その他（ _____ ）

問2 伊予市の環境に関する各項目について充実希望度・現時点の満足度についてお尋ねします。
項目ごとに最もあてはまる番号を 1つ選んで○で囲んでください。

項 目		充実希望度					満足度				
		充実させてほしい	やや充実させてほしい	どちらともいえない	あまり希望しない	希望しない	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
(例) それぞれ該当する番号を○で囲む→		⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
空気や水のきれいさ	1 大気汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな空気が確保されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	2 土壌汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな土や地下水が確保されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	3 豊かな自然環境の保全に向けて、身近な緑が保全・再生されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	4 水質汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな川や海が確保されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	5 放射性物質による環境汚染がなく、生活環境が保全されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

充実希望度・満足度 項目		充実希望度					満足度				
		充実させてほしい	やや充実させてほしい	どちらともいえない	あまり希望しない	希望しない	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
(例) それぞれ該当する番号を○で囲む→		⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1
快適さ、緑、景観、農水産との共存	6 廃棄物の発生抑制及び減量・資源化が推進され、循環型社会が形成されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	7 家庭における食品ロスや、事業者における食品廃棄物の削減が推進されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	8 エコバッグの活用や過剰梱包の防止など、プラスチックごみの削減に向けた取組が定着している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	9 騒音・振動・悪臭の防止に向けた取組が推進され、快適な生活環境が確保されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	10 公園や緑地など新たに緑が創出され、潤いのある生活環境が確保されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	11 伊予市ならではの景観を保全するとともに、良好な景観が形成されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	12 安全・安心な食を身近で確保するための地産地消が実践されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
里山・生物多様性	13 水と緑が調和した自然空間があり、四季折々の自然環境が形成されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	14 多様な生物の生息・生育環境の保全のため、今ある自然環境への配慮が十分なされ、都市環境・居住環境と豊かな自然とが調和している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
文化、環境教育、活動	15 文化財や優れた歴史的な遺産が適切に保全されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	16 学校や地域、事業所などあらゆる社会の中で、環境教育・環境学習が推進され、環境を意識した行動が広がっている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	17 より多くの市民・事業者が環境への関心と意識を高く持つことで、さまざまな環境保全活動と環境美化活動が展開されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
地球温暖化対策	18 地球温暖化対策について、市民・事業者・行政の力を活かした地域からの行動が進められている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	19 環境に優しい都市システムによる脱炭素社会が創造されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	20 エネルギーの地産地消を見据えた再生可能エネルギー※1の活用とマネジメントが行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	21 環境への負荷を低減し、未来へつなげる循環型社会が実現されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	22 市民や事業者をけん引する行政の率優先的取組が推進されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	23 地球温暖化対策の取組に民間事業者を誘導する仕組みが実現されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

※1 再生可能エネルギー・・・太陽光や風力など、常に自然界に存在する環境や資源を利用するエネルギーのこと。

問3 節電や省エネ行動として望まれる次の各行動についてお尋ねします。項目ごとに最もあてはまる番号を 1つ選んで○で囲んでください。該当する機器を保有していない等の場合は、「該当しない」に○をつけてください。

項 目	はい	ときどき	いいえ	該当しない
① クールビズ（スーパークールビズ）・ウォームビズの推進等により、エアコンやファンヒーターなどの温度設定をこまめに調節している	4	3	2	1
② 事務所内の会議室やトイレなどの照明は、こまめに消灯している	4	3	2	1
③ 昼休みは室内消灯をしている	4	3	2	1
④ ノー残業デーを設定・実施している	4	3	2	1
⑤ 電球・蛍光灯の部分除去等による減灯をしている	4	3	2	1
⑥ パソコンなどの事務用機器は省エネモードに設定している	4	3	2	1
⑦ 空調を使用する時は、窓や扉を閉めたり、ブラインドを活用するなど効率利用に努めている	4	3	2	1
⑧ 中間期・冬期は外気の取り入れを行い、冷房時間を短縮している	4	3	2	1
⑨ 空調は、必要最低限の外気取り入れを行っている	4	3	2	1
⑩ 冷房期は、空調の起動順序を変更し、外気のカットに努めている	4	3	2	1
⑪ 冷暖房時の冷温水温度を調節している	4	3	2	1
⑫ 冷却水温度を調節している	4	3	2	1
⑬ ボイラーの燃焼空気比を調節し、燃焼効率の向上に努めている	4	3	2	1
⑭ ノーカーデーを推進するとともに、エコドライブを実践している	4	3	2	1
⑮ 環境への貢献（CSR）に取り組むとともに、環境に関する市の事業（清掃活動など）に参加している	4	3	2	1
⑯ エコマーク付き商品など、環境にやさしい製品を購入するようにしている	4	3	2	1

問4 問3で「いいえ」と回答した項目が1つ以上あった方にお尋ねします。取り組めていない理由について、最もあてはまる番号を 1つ選んで○で囲んでください。「7. その他」を選択された場合は、カッコ内に具体的にご記入ください。

- | | |
|---------------------------------|--------------|
| 1. 業務活動上困難である | 2. 手間がかかる |
| 3. 経費・費用がかかる | 4. 業務上で不便になる |
| 5. 取組を行っても効果が分からない、あるいは実感がわからない | |
| 6. どのような取組をすれば良いのか分からない | |
| 7. その他（ ） | |

問5 貴事業所が省エネ行動や温室効果ガス削減の取組を行う理由をお尋ねします。あてはまる

番号をすべて選んで○で囲んでください。「9. その他」を選択された場合は、かっこ内に具体的にご記入ください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 環境への貢献（CSR） | 2. 地域貢献活動 |
| 3. コスト削減 | 4. 企業PR・自社イメージの向上 |
| 5. 商品PR | 6. 従業員の意識向上 |
| 7. 顧客獲得・販路開拓 | 8. 省エネ法・温暖化対策法等 |
| 9. その他（ | ） |

問6 省エネ設備や再生可能エネルギー（以下、再エネ）の導入状況についてお尋ねします。項目ごとに最もあてはまる番号を 1つ選んで○で囲んでください。

項 目	実施済み	実施検討中 (予定含む)	実施予定はないが、 関心はある	実施予定はなく、 関心もない
① 省エネ法の施行による削減	4	3	2	1
② ESCO事業※ ² による省エネ技術の導入	4	3	2	1
③ LEDなどの高効率照明の導入	4	3	2	1
④ 高効率のボイラーやモーターなどの導入	4	3	2	1
⑤ ヒートポンプ、潜熱回収、ガスエンジンなど高効率空調の導入	4	3	2	1
⑥ 冷水・冷却水ポンプ、空気調和機等インバータ制御の導入	4	3	2	1
⑦ 建築物の省エネ性能の向上	4	3	2	1
⑧ コージェネレーションシステム※ ³ などの高効率発電設備の導入	4	3	2	1
⑨ 電気自動車（EV）の導入	4	3	2	1
⑩ 燃料電池自動車（FCV）の導入	4	3	2	1
⑪ 屋上緑化や壁面緑化、緑のカーテンなど建物の緑化	4	3	2	1
⑫ 太陽光発電システムの導入	4	3	2	1
⑬ BEMS※ ⁴ の導入	4	3	2	1
⑭ 建物のZEB※ ⁵ 化	4	3	2	1
⑮ 従業員一人ひとりの環境への意識向上に向けた啓発や研修	4	3	2	1

※2 ESCO事業・・・ESCOとは、Energy Service Company（エネルギー・サービス・カンパニー）の略。

省エネルギーの提案、施設の提供、維持・管理など包括的なサービスを行う事業のこと。

※3 コージェネレーションシステム・・・天然ガス、石油、LPガス等を燃料として、エンジン、タービン、燃料電池等の方式により発電し、その際生じる廃熱も同時に回収するシステム

※4 BEMS・・・Building Energy Management System（ビル・エネルギー・マネジメント・システム）の略。

ビルの機器・設備等によってエネルギー消費量を管理するシステムのこと。

※5 ZEB・・・Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略。室内環境を維持しつつ大幅な省エネルギーの実現や再生可能エネルギーの導入により、年間のエネルギー収支をゼロとすることを目指した建築物のこと。

問 7 今後の伊予市が行う様々な環境行政施策についてお伺いします。行政が、特に優先して取り組むべき施策は、何だとお考えですか。特にあてはまる番号を3つまで選んで○で囲んでください。「19. その他」を選択された場合は、カッコ内に具体的にご記入ください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 大気汚染の防止 | 2. 土壌汚染の防止 |
| 3. 地下水の汚染防止 | 4. 自然の緑地や水辺の保護・保全 |
| 5. 河川・海等の水質汚濁の防止 | 6. ごみの減量化・資源化 |
| 7. 騒音・振動・悪臭の防止 | 8. 公園等の街なみの緑化 |
| 9. 農水産物の地産地消の推進 | 10. 生物多様性の保全 |
| 11. 環境教育の推進 | 12. 環境保全活動・美化活動の推進 |
| 13. エネルギーの地産地消 | 14. 再エネの導入促進 |
| 15. 環境にやさしい交通手段の整備 | 16. 省エネルギー設備の導入促進 |
| 17. 地球温暖化への適応※6 | 18. 環境施策の情報提供・PRの充実 |
| 19. その他（ ） | |

問 8 再エネの利用方法についてお尋ねします。今後、伊予市において再エネを推進していく場合、どのような導入方法を望まれますか。あてはまる番号を 1つ選んで○で囲んでください。

1. 個々の事業所・工場に導入して自家消費する
2. 役所や電気事業者主体で地域に導入し、得られたエネルギーを事業所が購入する
3. 事業所での利用より、公共施設などで地域として利用していく
4. 再エネの利用にあまり関心がない

問 9 問 8 で「1. 個々の事業所・工場に導入して自家消費する」を選んだ方にお尋ねします。再エネの導入に際し、伊予市に期待する支援はなんですか。あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください。「6. その他」を選択された場合は、カッコ内に具体的にご記入ください。

1. 設備の設置や維持管理にかかる費用の補助
2. 設備の老朽化や破損時の対応に関する情報提供
3. 再エネ施工事業者などに関する情報提供
4. 事業所・工場での再エネ導入事例やコストに関する情報提供
5. 再エネの種類（発電や熱利用、太陽光パネルによる違いなど）に関する情報提供
6. その他（ ）

※6 適応・・・温室効果ガスの増加によって進む気候変動（地球温暖化や降水パターンの変化など）には様々な影響（猛暑による熱中症や集中豪雨による浸水被害の増加など）が伴い、このような既に起こりつつある気候変動による影響に備えること（例えば、「浸水に備えてハザードマップなどで避難経路、避難先を確認しておく」など）。

問 10 伊予市において、既に地球温暖化の影響を受けていると感じるものについてお尋ねします。あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください。

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1. コメの品質低下や収量減少 | 2. 果物の品質低下 |
| 3. 野菜の品質低下や収穫時期の変動 | 4. 河川の水量減少や水質悪化 |
| 5. 麦や大豆、飼料作物の品質低下や収量減少 | 6. 海産物の養殖業への影響 |
| 7. 食料供給力の低下 | 8. 湧水や地下水量の減少 |
| 9. 樹木の植生の変化 | 10. 市内に生息する生き物の種類の変化 |
| 11. 河川に生息する生き物の種類の変化 | 12. 海に生息する生き物の種類の変化 |
| 13. 桜などの開花時期の変化 | 14. 市内に生息する生き物の生息域の変化 |
| 15. 外来種の増加 | 16. 洪水や浸水害のリスクの増加 |
| 17. 高潮や高波のリスクの増加 | 18. 海面水位の上昇 |
| 19. 海岸線の浸食 | 20. 強風被害の増加 |
| 21. 気温上昇による病状の悪化 | 22. 熱中症リスクの増加 |
| 23. デング熱などの感染症リスクの増加 | 24. ヒートアイランド現象の進行 |
| 25. 台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 | |
| 26. 特になし | |

問 11 地球温暖化の影響について、伊予市で今後、重点的に対策していくべき事項についてお尋ねします。あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください。

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1. コメの品質低下や収量減少 | 2. 果物の品質低下 |
| 3. 野菜の品質低下や収穫時期の変動 | 4. 河川の水量減少や水質悪化 |
| 5. 麦や大豆、飼料作物の品質低下や収量減少 | 6. 海産物の養殖業への影響 |
| 7. 食料供給力の低下 | 8. 湧水や地下水量の減少 |
| 9. 樹木の植生の変化 | 10. 市内に生息する生き物の種類の変化 |
| 11. 河川に生息する生き物の種類の変化 | 12. 海に生息する生き物の種類の変化 |
| 13. 桜などの開花時期の変化 | 14. 市内に生息する生き物の生息域の変化 |
| 15. 外来種の増加 | 16. 洪水や浸水害のリスクの増加 |
| 17. 高潮や高波のリスクの増加 | 18. 海面水位の上昇 |
| 19. 海岸線の浸食 | 20. 強風被害の増加 |
| 21. 気温上昇による病状の悪化 | 22. 熱中症リスクの増加 |
| 23. デング熱などの感染症リスクの増加 | 24. ヒートアイランド現象の進行 |
| 25. 台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 | |
| 26. 特になし | |

問12 伊予市は、令和4年3月18日市議会定例会において、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言しました。貴事業所では、2050年カーボンニュートラル※7達成を目指す上で、どのような対策を考えていますか。あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください。

1. 省エネの推進によるエネルギー消費量の低減を促進する
2. 在宅勤務、リモート会議等の働き方改革により温室効果ガスの排出を抑制する
3. 脱炭素化等の技術研究を進め、イノベーションを起こす
4. 自社電源として、再エネ電源の導入による電力の脱炭素化を促進する
5. 生産プロセスでの温室効果ガスの排出を抑制する
6. 植林等により吸収源拡大に向けた取組を行う
7. 温室効果ガス排出量を減らすための省エネを推進する計画を策定する
8. その他（具体的に： _____）
9. 特に考えていない

※7 カーボンニュートラル：二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて、全体としてゼロを達成することを意味する概念。

問13 どの媒体で環境関連の情報発信を行うと分かりやすいですか。最もあてはまる番号を 3つまで選んで○で囲んでください。「10. その他」を選択された場合は、かっこ内に具体的にご記入ください。

1. 講習会や研修会
2. 地域活動を通じて
3. 友人との会話
4. 国・県・市などの広報誌
5. 新聞・雑誌・書籍
6. 家族との会話
7. テレビ・ラジオ
8. インターネット・メール配信
9. SNS（フェイスブック等）
10. その他（ _____ ）

問14 最後に伊予市の環境行政へのご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

※ 記入漏れがないかもう一度お確かめの上、回答用紙を返信用封筒に入れ、

7月24日（日） までにご投函くださいますようお願いいたします。

卷末資料 3

アンケート調査結果

「伊予市の環境」と「地球温暖化対策」に関する
アンケート調査結果報告書

令和４年８月

第1章 アンケート調査概要

1 調査目的

市民・事業者の環境に関する意識を把握するため、アンケートを通じて調査を実施しました。

2 調査内容

調査の内容は、表 1-1 のとおりです。

表 1-1 調査内容

項目	市民	事業者
調査対象	市内に在住する 満 20 歳以上の市民（1,500 人）	市内の事業所（200 事業所）
実施方法	郵送配布・郵送回収による郵送調査法及び Web 調査	
調査期間	令和 4 年 7 月 8 日 ～ 7 月 24 日	
回 収 率	33.9 % (509 通／1,500 通)	41.5 % (83 通／200 通)

第2章 アンケート調査結果（市民編）

問1 あなたご自身のことについてお尋ねします。項目ごとにあてはまる番号を○で囲んでください。（それぞれ1つ選択）

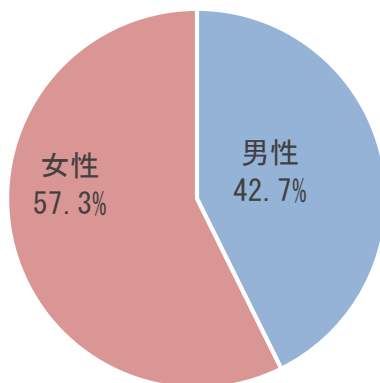


図 2-1 性別

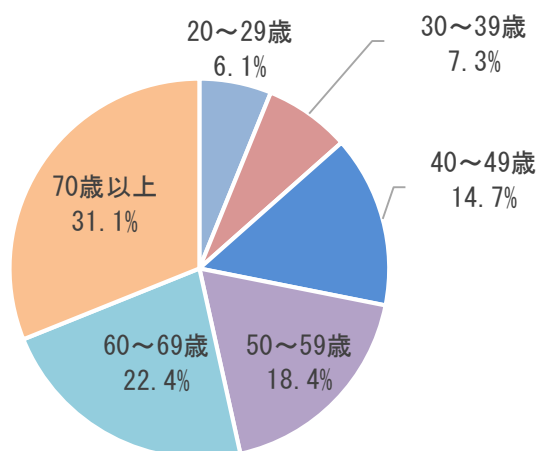


図 2-2 年齢

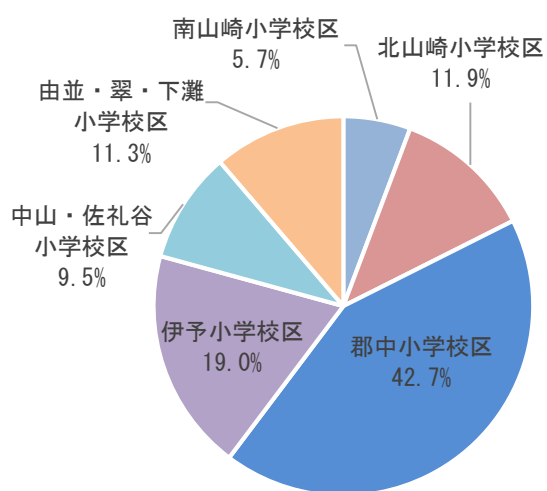


図 2-3 居住地域

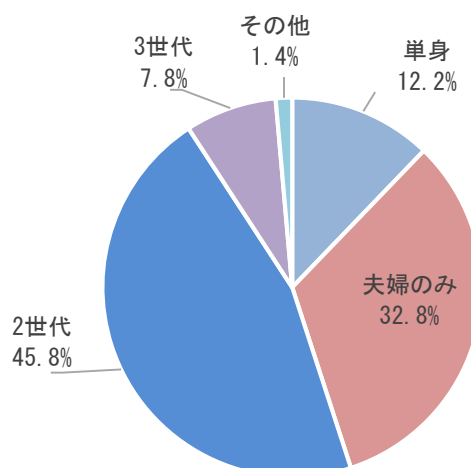


図 2-4 家族構成

家族構成「その他」回答内容

内容
兄弟

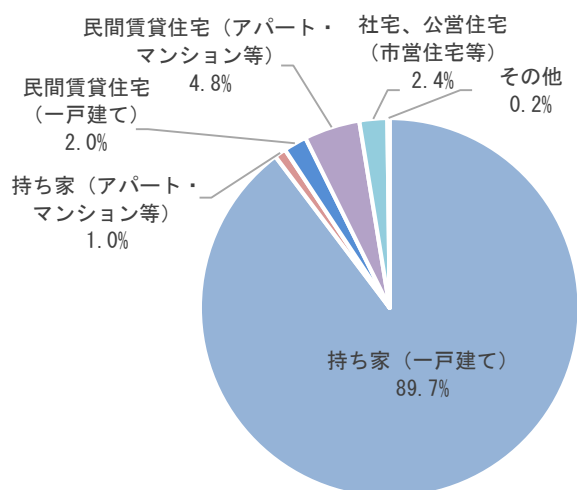


図 2-5 居住形態

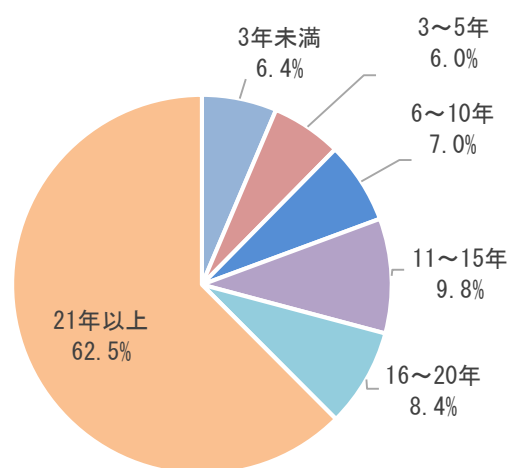


図 2-6 居住年数

問2 伊予市の環境に関する各項目について充実希望度・現時点の満足度についてお尋ねします。最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

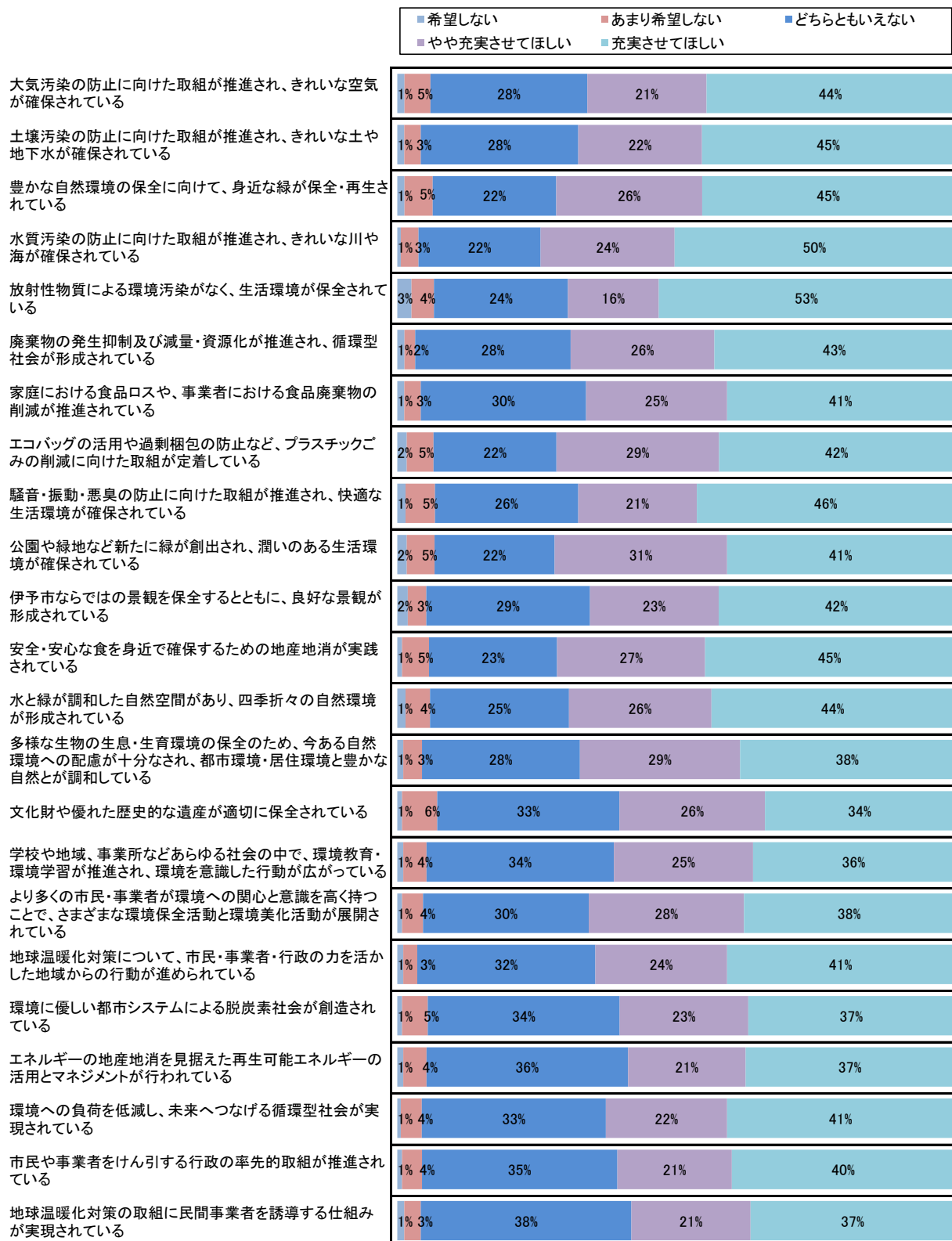


図 2-7 (1) 環境に関する充実希望度

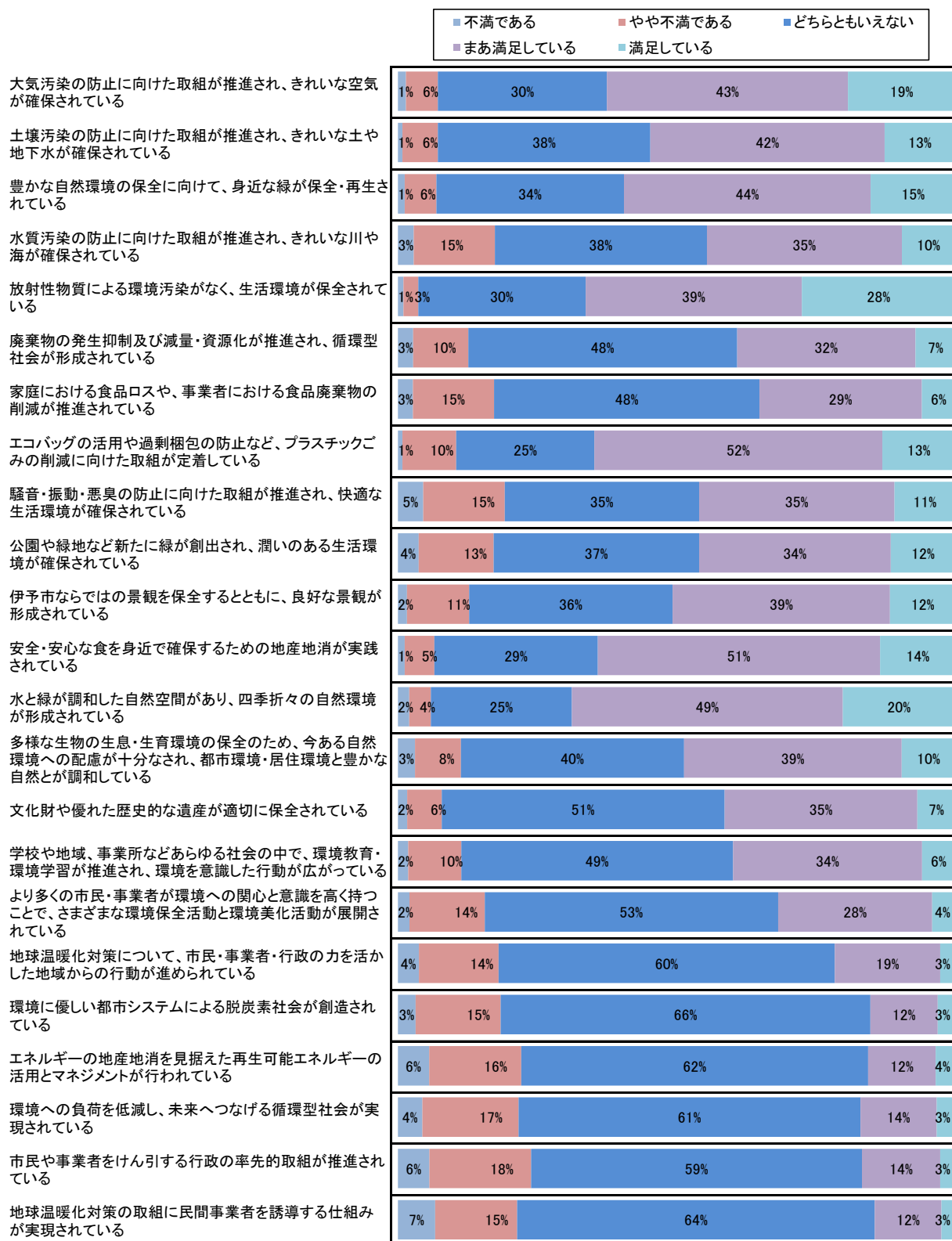


図 2-7 (2) 環境に関する満足度

問3 日頃行っている環境保全の取組についてお尋ねします。項目ごとに最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。該当する機器を保有していない等の場合は、「該当しない」に○をつけてください。

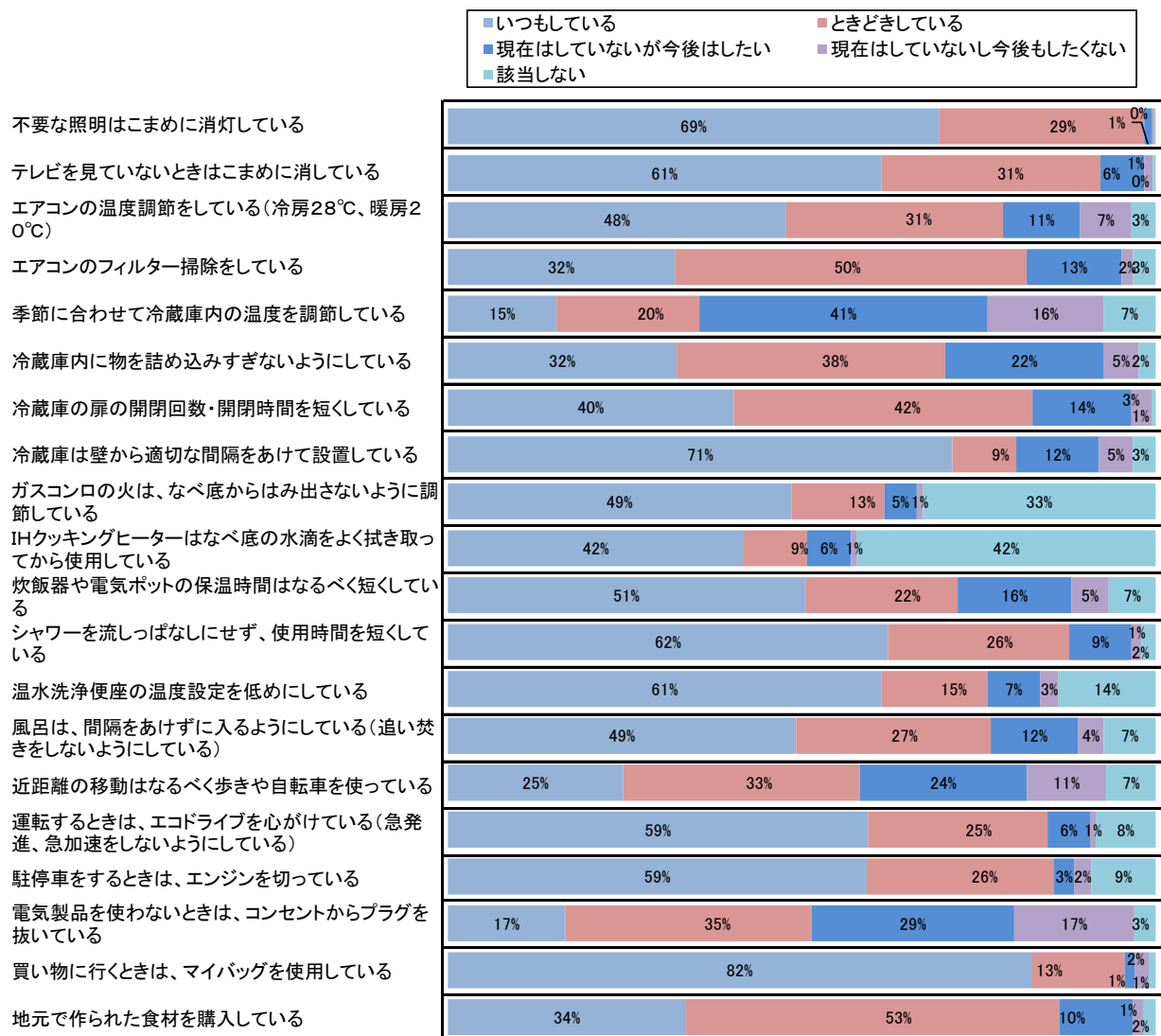


図 2-8 省エネ行動の実践状況

問4 問3にあるような環境保全の取組を実施するために、支障があると感じるものは何ですか。最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

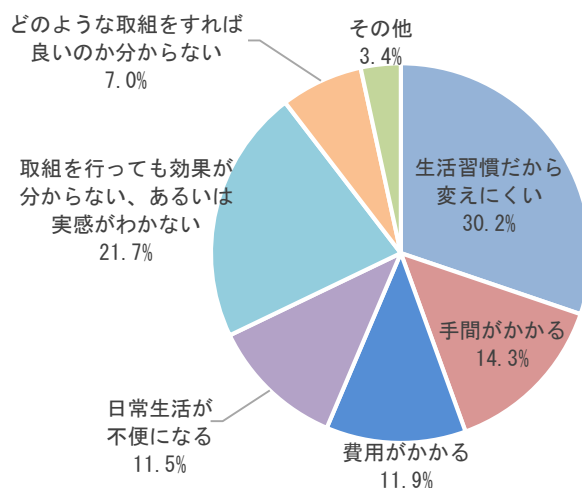


図 2-9 省エネ行動に取り組めていない理由

「その他」回答内容

内容

1人1人の意識が足りないとどうしようもない。

可能な事は日常的に行っている。

エアコンは無理（温度）。

病気など健康不安があると実行できない事が多々ある。

本当の意味が無視されていると思う。

ECOに意味がないから。

近距離とは？1km～5kmでは無理があるのでは？

苦にならない。

家族間の不一致。

現状でよいと思う。

意識の問題。その気があるかないか。

要介護者がいる為、近距離でも車移動になっている。

地域によってできる、できないがある。過疎の問題。

努力しています。

問5 省エネ設備や再生可能エネルギー（以下、再エネ）の導入状況についてお尋ねします。
最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

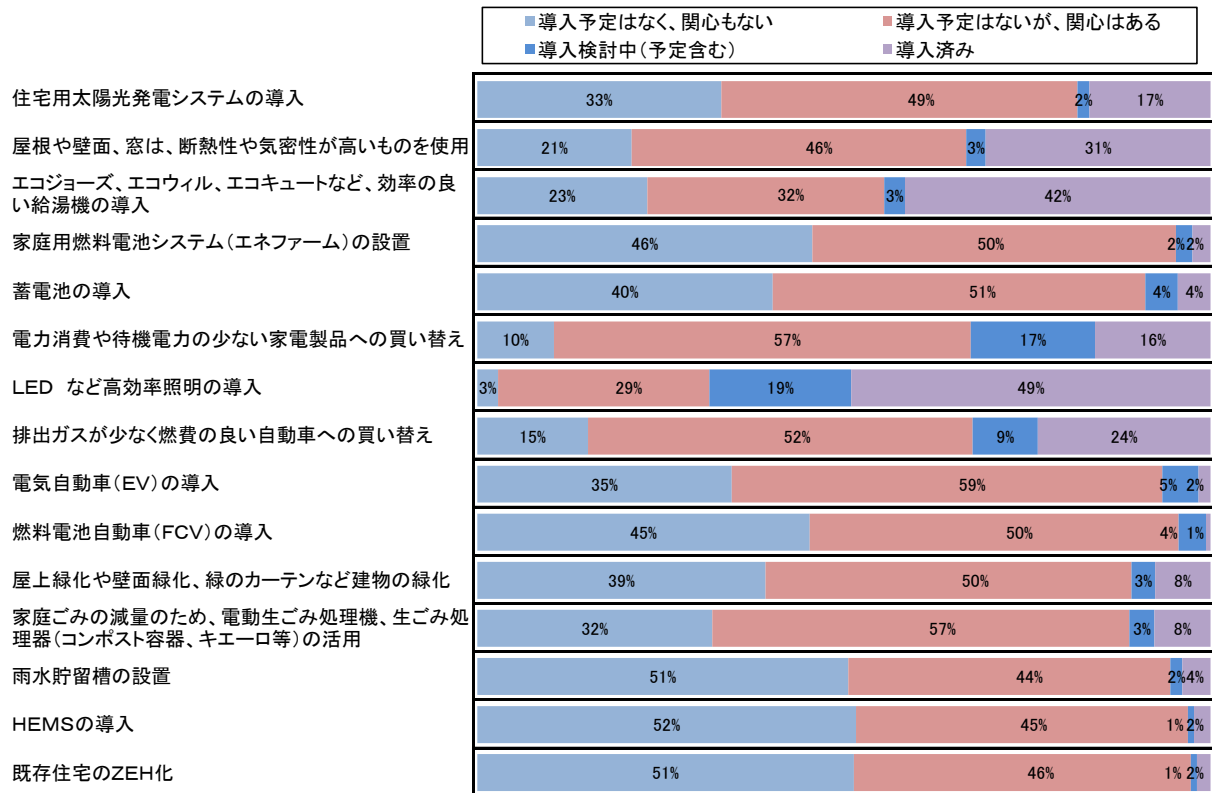


図 2-10 省エネ設備・再生可能エネルギーの導入状況

問6 今後の伊予市が行う様々な環境行政施策についてお伺いします。行政が、特に優先して取り組むべき施策は、何だとお考えですか。特にあてはまる番号を3つまで選んで○で囲んでください。

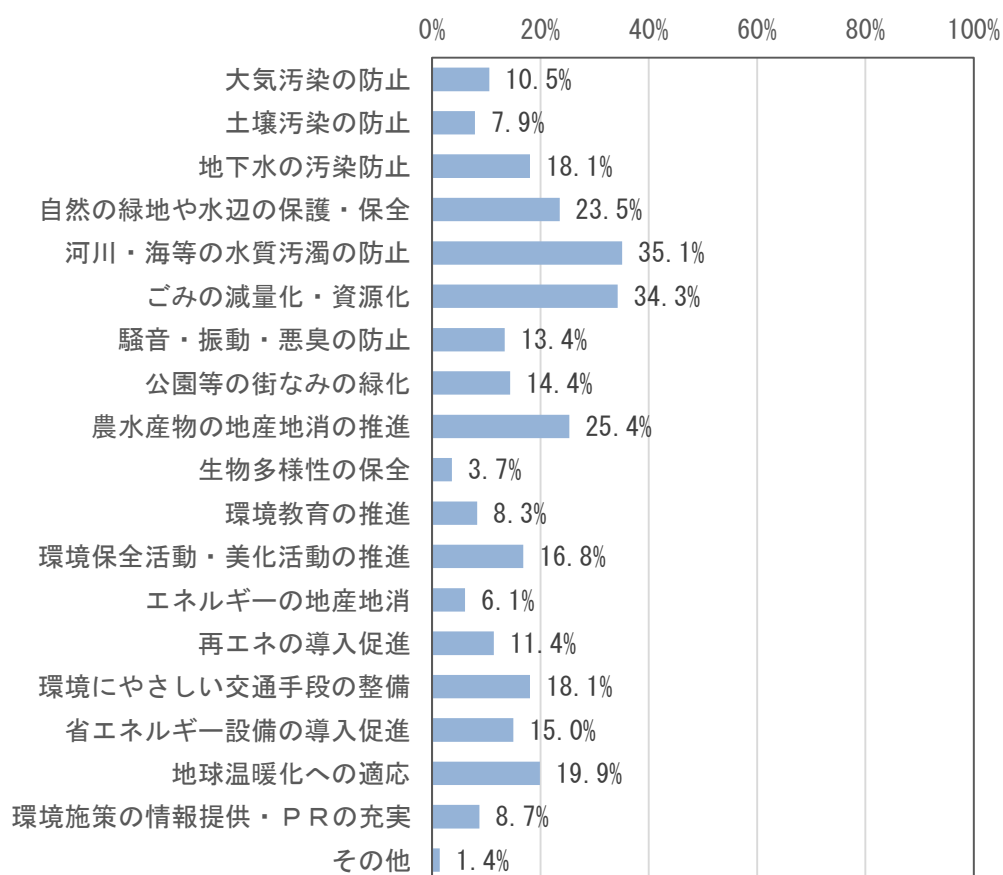


図 2-11 優先して取り組むべき施策

「その他」回答内容

内容

河川、道路の雑草対策。

水道水の水質改善。水道水が臭く浄水機なしで使用できません。

空家対策。

378 号のバイクの騒音がうるさいのでよびかけ警告などして静かな伊予市にしてほしい。

国道脇の投捨てられたゴミが気になる。特に大寄。

放作地の草刈りを徹底してもらい、他人に迷惑をかけないようにしてほしい。

問7 再エネの利用方法についてお尋ねします。今後、伊予市において再エネを推進していく場合、どのような導入方法を望まれますか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

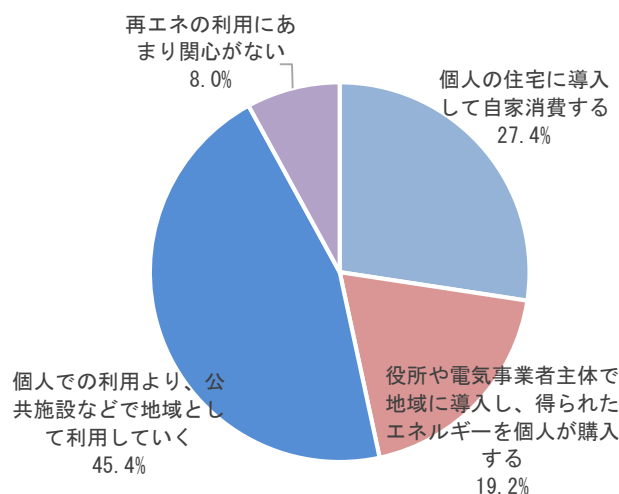


図 2-12 希望する再エネの導入方法

問8 問7で「1. 個人の住宅に導入して自家消費する」を選んだ方にお尋ねします。再エネの導入に際し、伊予市に期待する支援はなんですか。あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください。

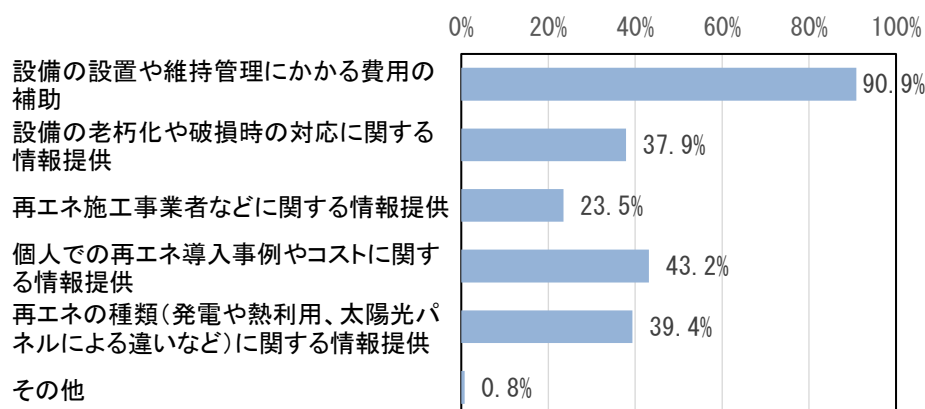


図 2-13 再エネ導入の際に伊予市に期待する支援

「その他」回答内容

内容

伊予市だけでなく国全体ですればコストも安くなるので出来るだけ日本で生産する様な働きかけをする。小池知事さんも新しい家（新築時）にしたらいいと言われてたと思います。

問9 伊予市において、既に地球温暖化の影響を受けていると感じるものについてお尋ねします。あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください。

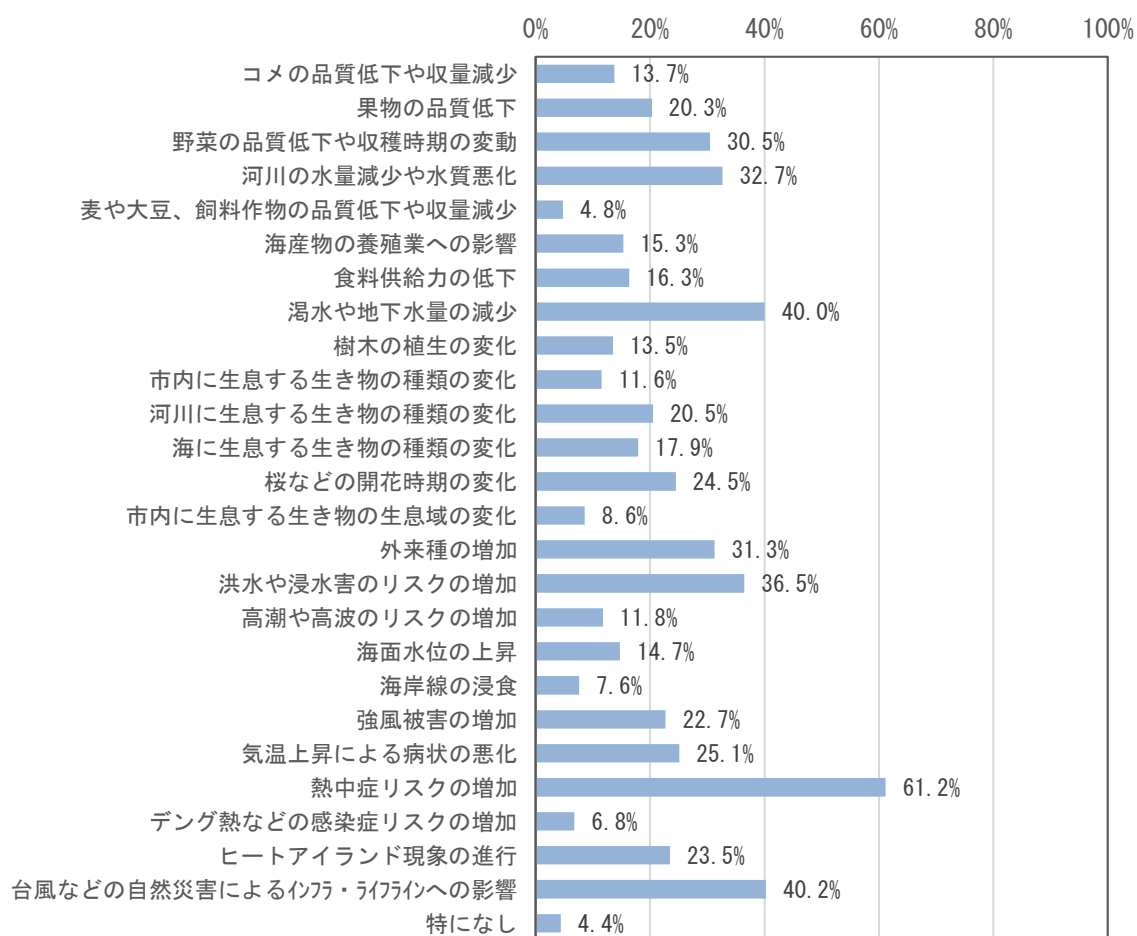


図 2-14 伊予市における地球温暖化の影響

問 10 地球温暖化の影響について、伊予市で今後、重点的に対策していくべき事項についてお尋ねします。あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください。

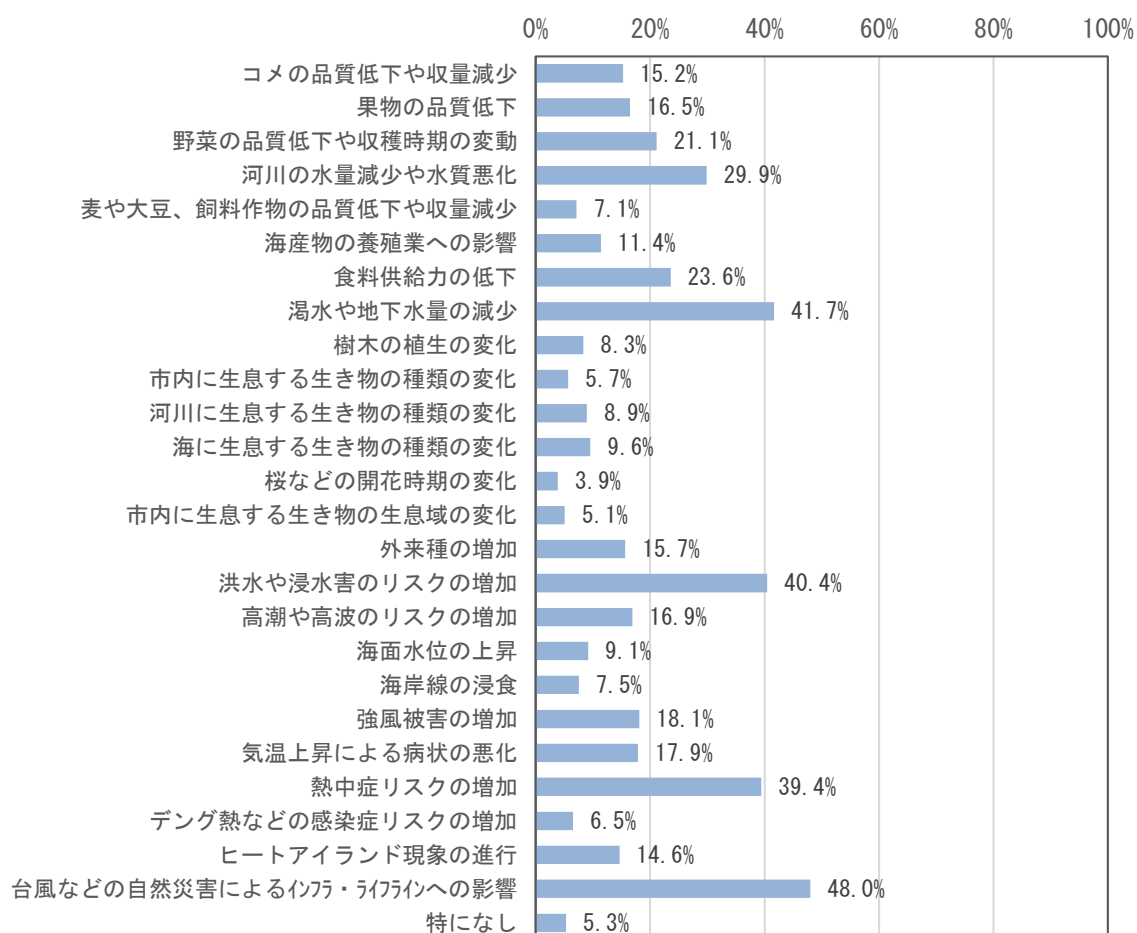


図 2-15 重点的に対策すべき影響

問 11 2016 年 4 月に電力小売が全面自由化され、一般家庭でも電気の購入先を選ぶことができるようになったことを受け、あなたは自宅の電力会社を変更しましたか。あてはまる番号を 1 つ選んで○をつけてください。

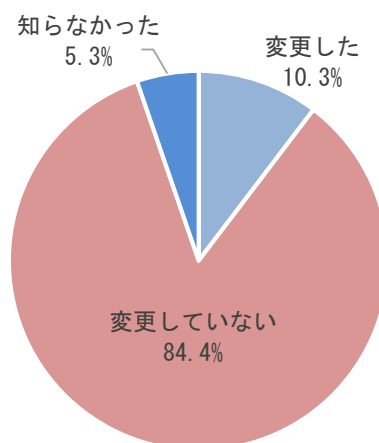


図 2-16 電力会社の変更について

問 12 問 11 で「1. 変更した」を選んだ方にお尋ねします。電力会社を選ぶときに、重視した点として最もあてはまる番号を 1 つ選んで○をつけてください。

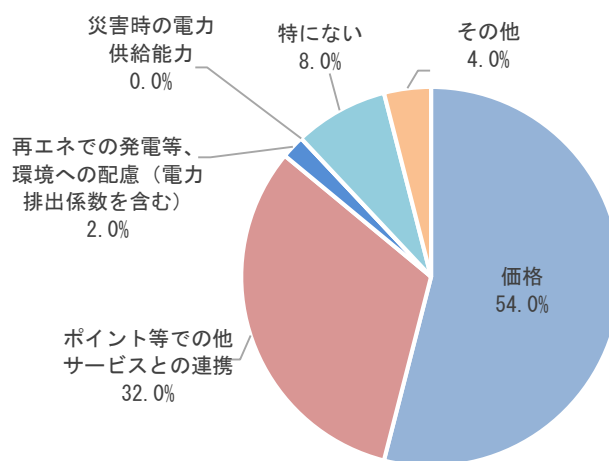


図 2-17 電力会社を選ぶときに重視した点

「その他」回答内容

内容
セールスに頼まれて根負け

問 13 どの媒体で環境関連の情報発信を行うと分かりやすいですか。最もあてはまる番号を 3 つまで選んで○で囲んでください。

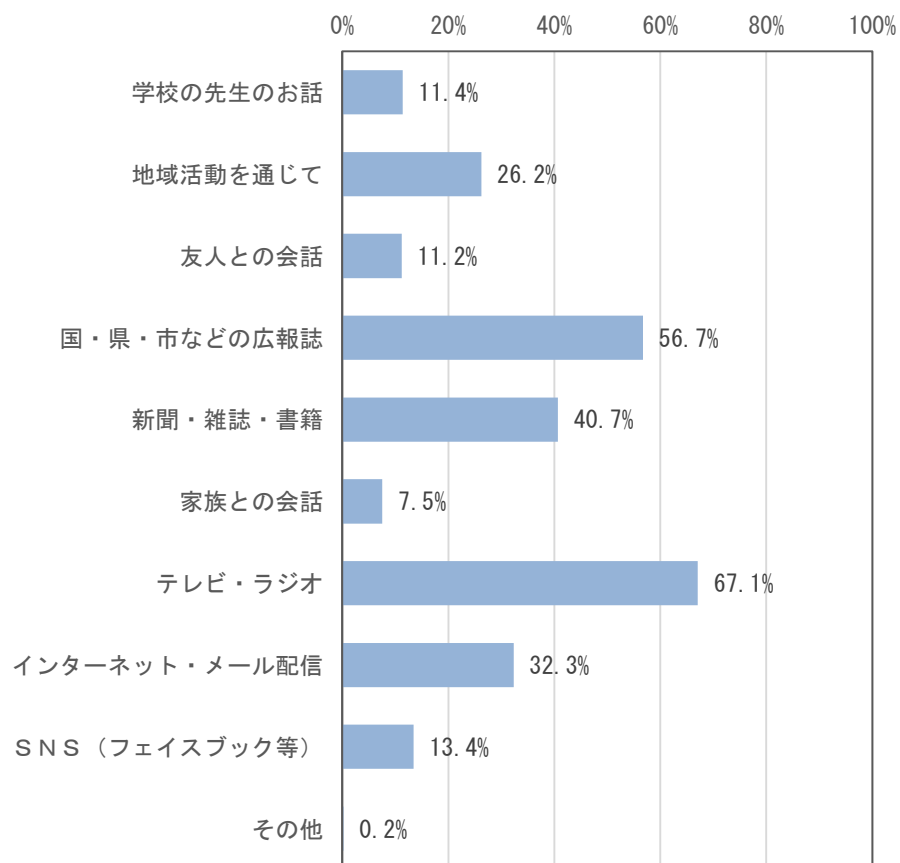


図 2-18 わかりやすい情報提供の方法

「その他」回答内容

内容

自分で本当の情報を調べること。

問 14 最後に伊予市の環境行政へのご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

回答内容

項目	内容
自然環境	今ある豊かな自然を次世代へもつないでほしい。子供達が自然と触れあうことで、環境問題を身近に感じられる育ちにつながると思う。 海や池が汚い。 伊予市は海あり、山あり、川ありますが特にというものがありません。活用できるように考えるべきです。
資源循環 廃棄物	ゴミ収集場のマナーの悪さが目につく。収集曜日を守らない。分別しない。結局役をしている人・掃除当番の人が片づけてとても嫌な気持ちになる。 毎年夏に行なわれていたクリーン運動が、コロナになってから実施されていません。毎年行っても側溝には落ち葉や土、泥がたまっていたのに、3年もそのままです。ニュースなどで、台風シーズン前には、点検が必要な箇所になっているが、全く手つかずです。気になりますが、個人で出来ることはありません。このことについて市ではどのように考えているのでしょうか。広報誌では、いろんなイベントが「コロナ感染防止により中止」とあるだけですが、クリーン運動は、安全に生活するうえで、必要なことだと思っています。 燃えないゴミで電池1個、電球1個、腕時計等分別するのに各々少しまとまらないと出せない。袋に入れるのが不便（ゴミが増える。小口ゴミの集積場があればと常々思います）。 海にトイレの汚物を捨てているときがある（臭いがする時がある）。波消ブロックを置いて海のジャリを取ったらダメ。 ゴミの分別が煩雑。そこまで必要か？都会ほど簡単である。SDGsはもう古い考えになりつつある。このアンケート自体遅れているし、抽象的すぎるのでつかめない。 スーパーで働いているので感じるのですが、レジ袋の有料化は効果があるのでしょうか。毎回レジ袋を購入される方は多くいますし、ゴミ袋にいるからと大量にまとめ買いする方もいます。始めの頃はマイバック持ってる方がほとんどでしたが最近は減ってきていると思います。市町村指定のゴミ袋のあり方をもっと検討した方がよいのではないのでしょうか。 ゴミの分別ができていない。ルールを守らない。一人だけがしてもダメで、みんな一つになってやらないと全部できないと思う。毎日の生活からやってみないとだめ。 他市町に比べてごみの減量、分別の意識が低いと感じます。住民の意識改革が必要だと思います。 人の食べ残りの中に缶やペットボトル片付けながら泣きそうになる。 ゴミ収集の方はシールを貼って収集できませんとおいていくが、マナーを守ってないのはその地域の人は限らないので収集してほしい。

項目	内容
空家等	畑、空地、空き家、山の保全。 空家の雑草、害獣駆除に対して補助金を出してほしい。空き家対策を充実させてほしい。 街中で空家が多くなり放置されているところがあるのが気になる。安全な通行ができるようにしていただくと助かります。 市役所前の通り、郵便局の移転、カーテンのメイセキ前の五差路のスナックが立退いていないため、道路（歩道）が途中で拡張されないままで危険。田舎の駐車場が狭くなった。伊予市駅前の整備、元日通Pは使えないのか。
公園 景観 雑草	しおさい公園の遊歩道の掃除の頻度を増やしてほしい。落ち葉拾い雑草引き垣根の枝の剪定など整備することでもっと利用者が増えると思います。 利便性の良い街きれいな街に取り組んで頂きたいです。 国道、県道等の雑草駆除。 草刈り等をしない家庭があり大変迷惑をしている。他人に迷惑をかけているという考えがないように思える。公道が草で半分通れなくなっている。 土地の雑草がひどく、住宅地の近くでは種がとんで、非常に迷惑をしている。土地を管理している人は地主さんにきちんと指導をしてほしい。 生活道路周辺の草木（特に木）の管理については、力を入れてほしい。災害時（雨、風、雪）等で、木々の倒壊の心配と、車両通行中の視野に影響があり、交通事故の原因ともなり得る。 公園の整備をしっかりとしてほしい。草が生えすぎて小さな子供が遊ぶのに虫やへびなど出てきそうで怖い。 しおさい公園の水あそび場をきれいにしてほしい。ブランコがないので残念です。 伊予市は街中を歩いていても、街なみの緑化がされていない。夏場は日影がなく歩いていても、熱中症になりそう。老人は歩くか自転車しかないのだから熱を逃がす歩道、道幅の拡張、緑化。公園よりも暮らしやすい(高齢者の)街作りに着手して頂きたい。 鳥ノ木団地の近くの公園の荒れた草木がとても気になります。
環境教育	学校で生徒にごみ問題の大切さを教え家庭や地区で話しあう機会を作り、住民一人一人がごみを出さない工夫をするようになればいいと思います。食材を無駄にしない保存の仕方や、調理の仕方、コンポストの使い方等教室があればいいと思います。
道路 交通	住みやすい街で環境も良いし、特にはありません。 見通しが悪い場所にはミラーをつけてほしい。 道路の白線が見えない場所が多い。煙草などが捨てられていて汚い道路がある。 街路樹の手入れ等をもっと頑張してほしい。車で走っていていつも気になります。 我家の回りだとカラスの被害、ゴミ収集分を乱しています。道路に出しているのですが、これから道路の整備していく上でこうした場所の設置確保をお願いしたいものです。

項目	内容
災害対策	山奥に住んでいます。台風などの風水害で、県道沿いの山側がくずれそうな所が多くあります。予算のこともあるでしょうが、できるだけ早く対応をして欲しいです。(これは県の問題なのかも知れませんが。) 異常気象でいつ災害避難の必要性が高まるか心配される避難所については十分プランを立てていると思われるが、避難後仮設住宅が必要になることもありえる考える。 新聞で「インスタントハウス」を知ったのであるが、インスタントハウスは名古屋工業大学の先生が研究して作った4時間で作れる仮設住宅である。そこで本市でもインスタントハウスを備蓄して備えておけばいいと思う。備えあれば憂いなし。 河川内の草・木・土の排出により、鉄砲水への対策。
気候変動	いつも伊予市のために働いて下さりありがとうございます。今、地球温暖化が進んでおり、熱中症がとてもしやすくなっております。下校中の小学生や畑で仕事をしている方がもっと過ごしやすい環境などがあれば良いのかなと思います。下校途中に休める公園(日陰とイスのみでも)や小学生も日傘をさすなど(都会ではしているところもあり)推奨していけないでしょうか？
温暖化対策	電力対策・・・需要と供給のバランスをどの様にして行くか？長期的な展望を早く示した方が良いでしょう。 街灯のLED化の補助金額を増やしてほしい。 鳥の木の東側の川の中、草だけでなくかなり大きな木まで生えています。洪水になればあぶないのでは(5本以上ありますよ)。あの川は天井川だし、何箇所もの川が合流しているので余計危ないです。満潮にでもなれば余計大変です。他にもあるのかも知れませんが・・・。 「エコ」に意識を向けること→とてもよいが、実際にはかなりの初期投資を必要とする物・ことが多い。エコキュートとても高価でした。良いけど。+本人の健康を害してしまう(熱中症 etc) リスクもある。このため「エコ」は「ぜいたく品」となっている面もあり、その視点なしに行政が元気よく「エコやろうぜ!」と盛り上げてしまうと、「何やコイツら、全然民草のこと考えてないやんけ」と反感を抱えたり、イラっとしたりというイヤなムードを醸してしまいそうだね。そう思っています。様々なバランス・両立を考えたいですね。参考：スリランカの破産、ちょっと調べてみてください。「エコ」コスパ悪いですね。
公害	下水道の整備が進んで川や海の水質が良くなることを望んでいます。 水道水がたまに塩分を感じる事があります。 伊予市には、何社かの工場等がありますが、側を通ると息が出来ない時もあります。マルトモの第2工場北側はひどいです。指導等はできないのですか？

項目	内容
情報共有	環境行政というものがあること自体知らなかった。認知度低め。 子供が住みよい伊予市へしていてももらいたい。いろんなことに対してもっと分かりやすく詳しく誰でも関心の持てる文で説明を環境問題につて見やすいところに「提示してほしい。 イベントでどのような環境行政が行われているかを認知させる業務、普及の工夫。 また、今回のアンケートの件「環境保全、教育、地球温暖化対策」について、伊予市がどのような取り組みをされているのか全くわかりません。実際にされているのでしょうか。個人の意識や取り組みを聞く前に、市の取り組みを周知するのが先かとおもいますが。 伊予市広報や本庁ロビー提示コーナー、啓発活動などの環境行政の取り組みに「刮目」している。 普段どの様な活動をしているか、市民に見えてこない部分があるので、もう少し、こまかな公報活動（見通しや展望）などの情報が、高齢者や若い人でも親しみやすい内容で、情報提供があってもよいと思う。 市民に流れてくる環境行政の情報が少なすぎるように思います。もっと積極的に流してほしいです。高齢者にわかりやすい方法も必要ではないかと思います。 地球温暖化対策について、私の勉強不足のせいか、伊予市の対策について知識がなく、答えることが出来ませんでした。もっと PR していただけたらと思います。
その他	無理に推し進めず、段階的に施行してほしい。 地産地消の推進。 伊予市だけでなく国全体の問題ですが（国、県で考えておられるとは思いますが念の為に）将来山の方に人が住まなくなった時（現在も空き家がかなりあります）山が荒れ、水が心配です。そして相続した人がどんな人に売るか心配です。もうけの為ならどんな事でもする人や変な外国人に利用されない事が大事だと思います。 環境関連の補助金の増額。 伊予市は災害も少なく、交通等も便利で人柄もよく人気があり、住宅購入者が多いと聞きます。今後きびしい環境を迎えることが予想されますが行政市民が力をあわせて平和な世の中が続きますように希望します。 アンケートにこんなに良質そうな紙をしなくてもいいのではないかと思います。小学校のようにペラペラの色のくすんだ紙でも全然かまわない。 伊予市は旧伊予市、中山地区、双海地区と環境が全くと言って良い程異なると思います。地域の特性を考えた対策が必要かと思います。 財政難の中で、どれだけ環境問題に本気で取り組めるのか疑問です。 個人、行政共に負担が少なくなる事。取り組みに対して外国資本に占有されない事。（特に中国、韓国）これを目標にして欲しい。 真なることをして下さい。 伊予市全体で頑張っていきたいと思います。

項目	内容
その他	アンケートの設問が多すぎる。これだけの設問をするのであれば、市の行政で積極的に取り組むべきである。市行政としてどれだけの支援ができているのか、このアンケートを通じて返答（返して）ほしい。 もっと行政主導で何事も推進するべき。民間企業への影響は、補助金や事業転換優先させるなど。 とても大切な事ですが、難しくてわかりません。 たくさんの質問がありましたが、行政がどのような取り組みをされているのか不明で、回答が難しく、参考になるかどうかわかりません。 引っ越して間もないですが、ゴミ捨て等やりやすくて住みやすいです。湯水が心配ですが、無事に過ごせるといいなと思っています。 何をしたいかが良く分からないのですが、家庭でできる小さな事。例えば買い物の時のエコバックの使用。ゴミの分別。こまめにスイッチを切るくらいのことは出来ると思います。 中山間部へ目を向けて。（高齢化が進み農道の整備、農地保全も大変な状況） この質問についてもう少し解りやすく質問書を作成して下さい。皆さん困ると思いますが？私だけでしょうかスッキリとしない質問書と思うのは。 紙のムダ使いでは。アンケート方法に SNS 活用もあったのでは。 もっと環境が良くなれば、松山からも近く住みたい市になると思う。行政の努力に期待します。 今回の内容はちょっと高度で個人的ですが理解しがたく思いました。 町内会を辞める方が多いので、一戸あたりの負担額が高額になり、ますます町内会離れが進むと思います。 もっと早急に本気で取り組まないと、手遅れになると思います。 各行政への希望としては、納税通知や件数の多い調査等の着便から提出期限までが大変短いと感じますので、もう少し早く届くように再考願います。

第3章 アンケート調査結果（事業者編）

問1 貴事業所についてお尋ねします。あてはまる番号を○で囲んでください。

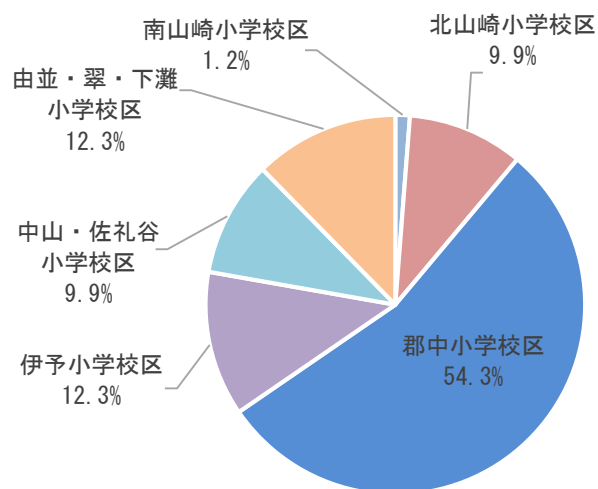


図 3-1 所在地域

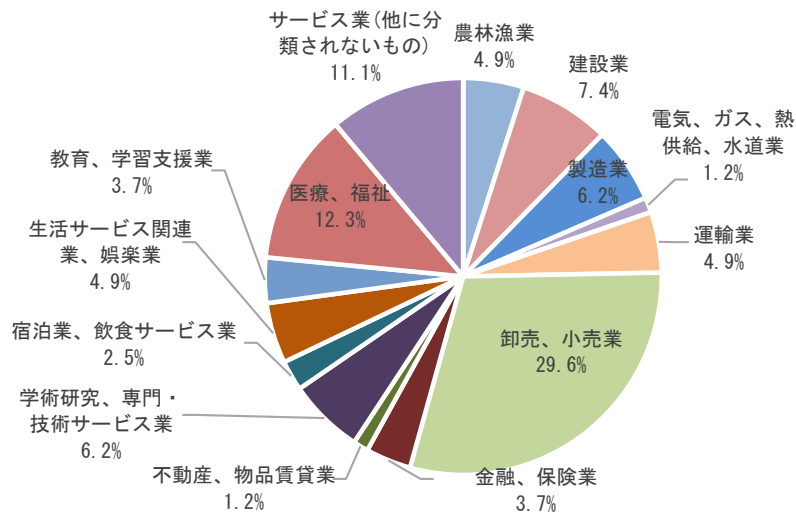


図 3-2 業種

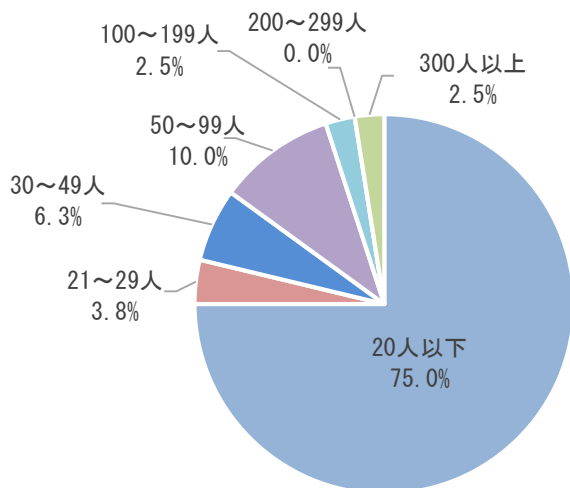


図 3-3 従業員規模

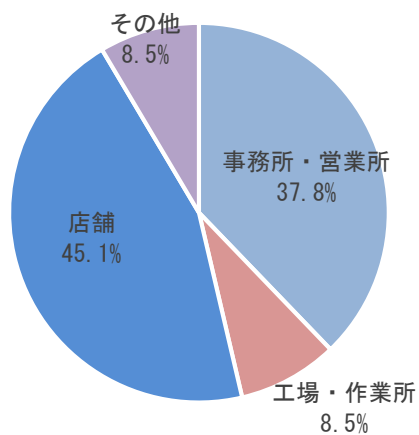


図 3-4 事業所の所有形態

事業所の所有形態「その他」回答内容

内容
事務所＋作業所
介護事業
宿泊施設

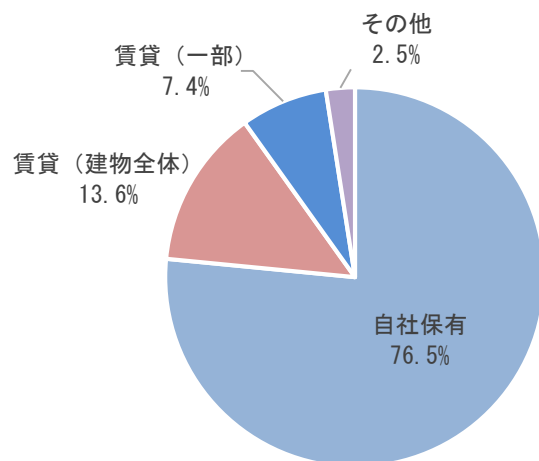


図 3-5 事業所の所有形態

「その他」回答内容

内容
自宅兼ねる
姉妹会社を共有

問2 伊予市の環境に関する各項目について充実希望度・現時点の満足度についてお尋ねします。項目ごとに最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

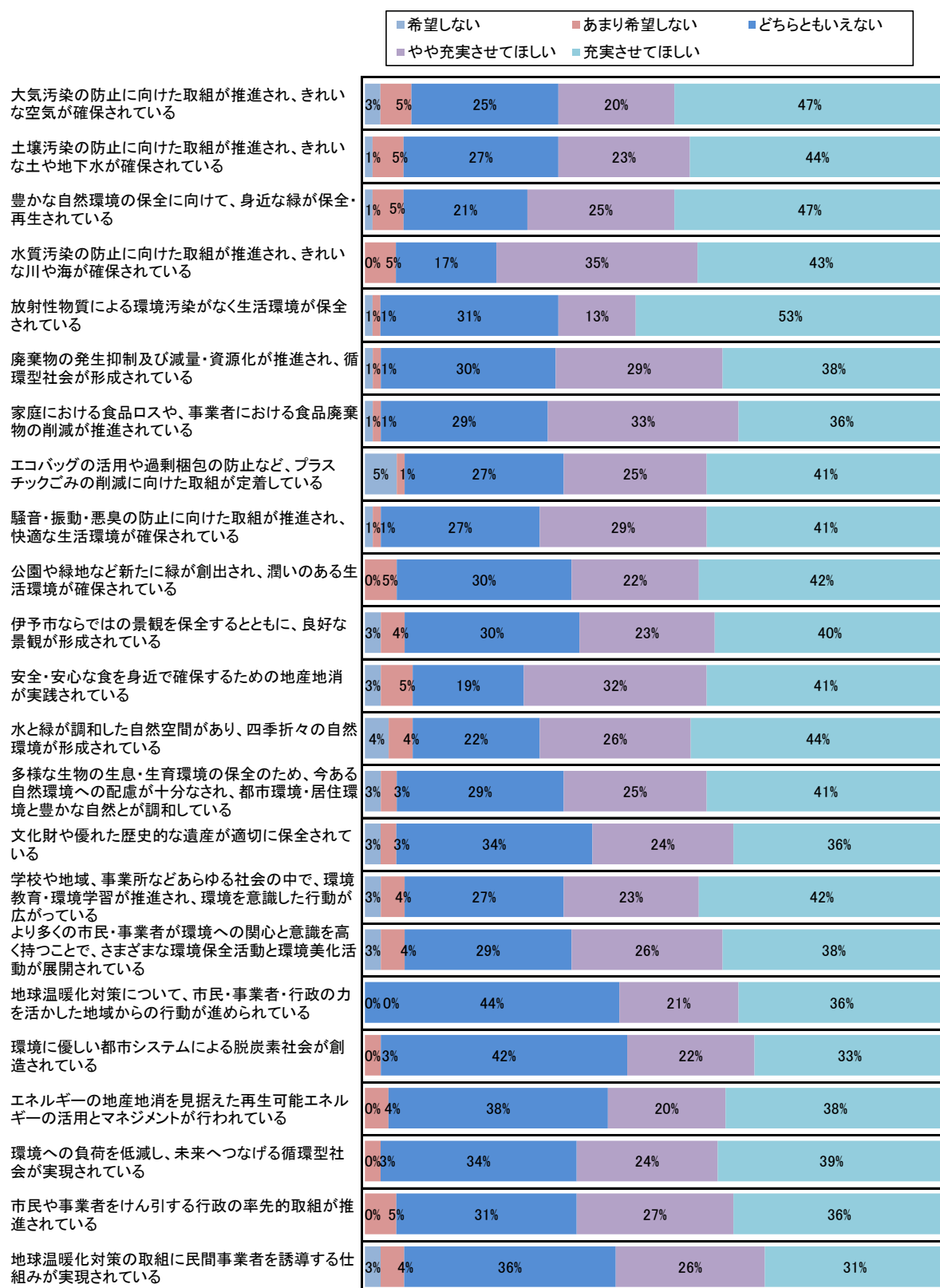


図 3-6 (1) 環境に関する充実希望度

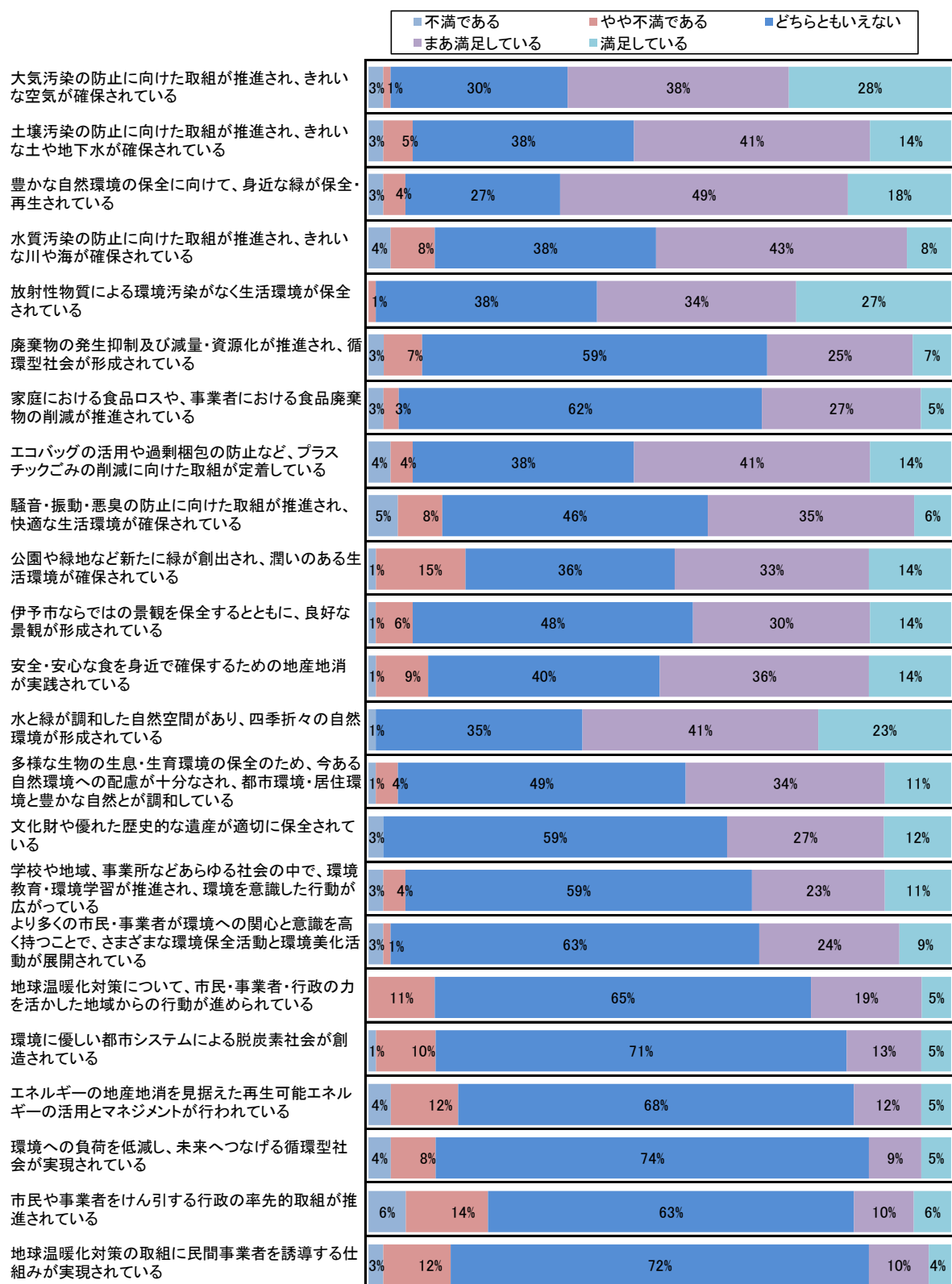


図 3-6 (2) 環境に関する満足度

問3 節電や省エネ行動として望まれる次の各行動についてお尋ねします。項目ごとに最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。該当する機器を保有していない等の場合は、「該当しない」に○をつけてください。

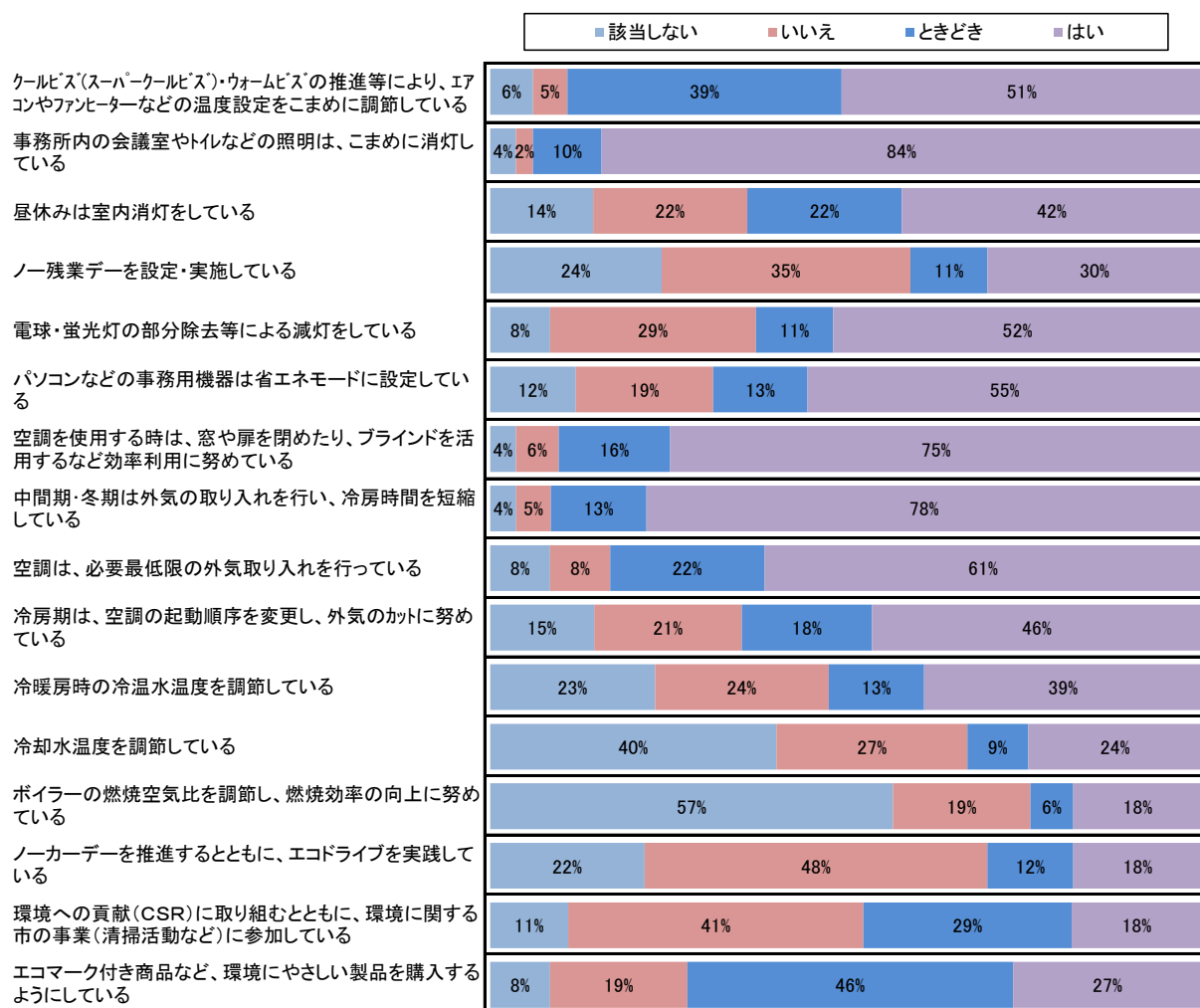


図 3-7 省エネ行動の実践状況

問4 問3で「いいえ」と回答した項目が1つ以上あった方にお尋ねします。取り組めていない理由について、最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

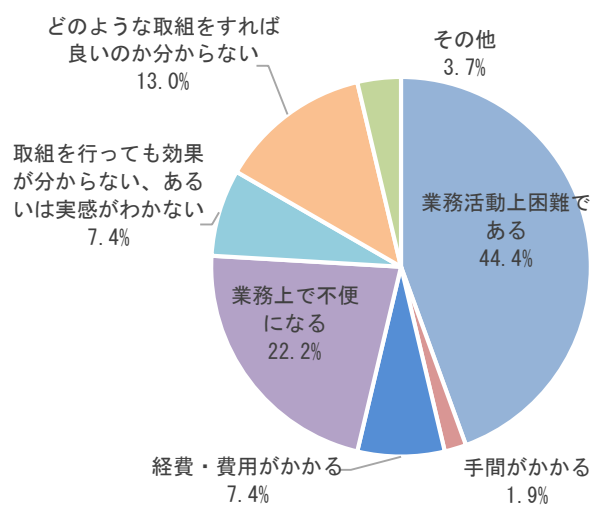


図 3-8 省エネ行動に取り組めていない理由

「その他」回答内容

内容

自然相手だから天候次第。する事が多すぎる。

問5 貴事業所が省エネ行動や温室効果ガス削減の取組を行う理由をお尋ねします。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

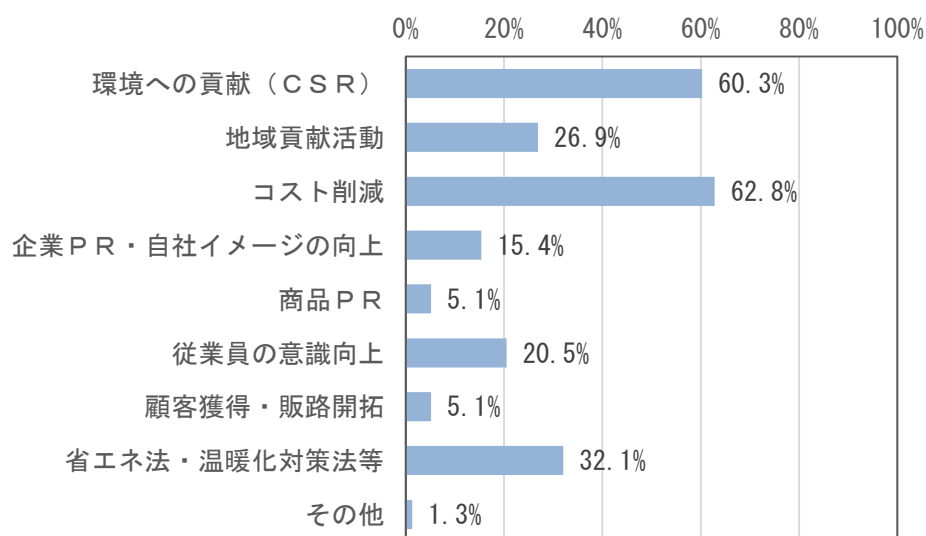


図3-9 省エネ行動・温室効果ガス削減を行う理由

「その他」回答内容

内容

普通の家庭と同じレベル。

問 6 省エネ設備や再生可能エネルギー（以下、再エネ）の導入状況についてお尋ねします。
項目ごとに最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

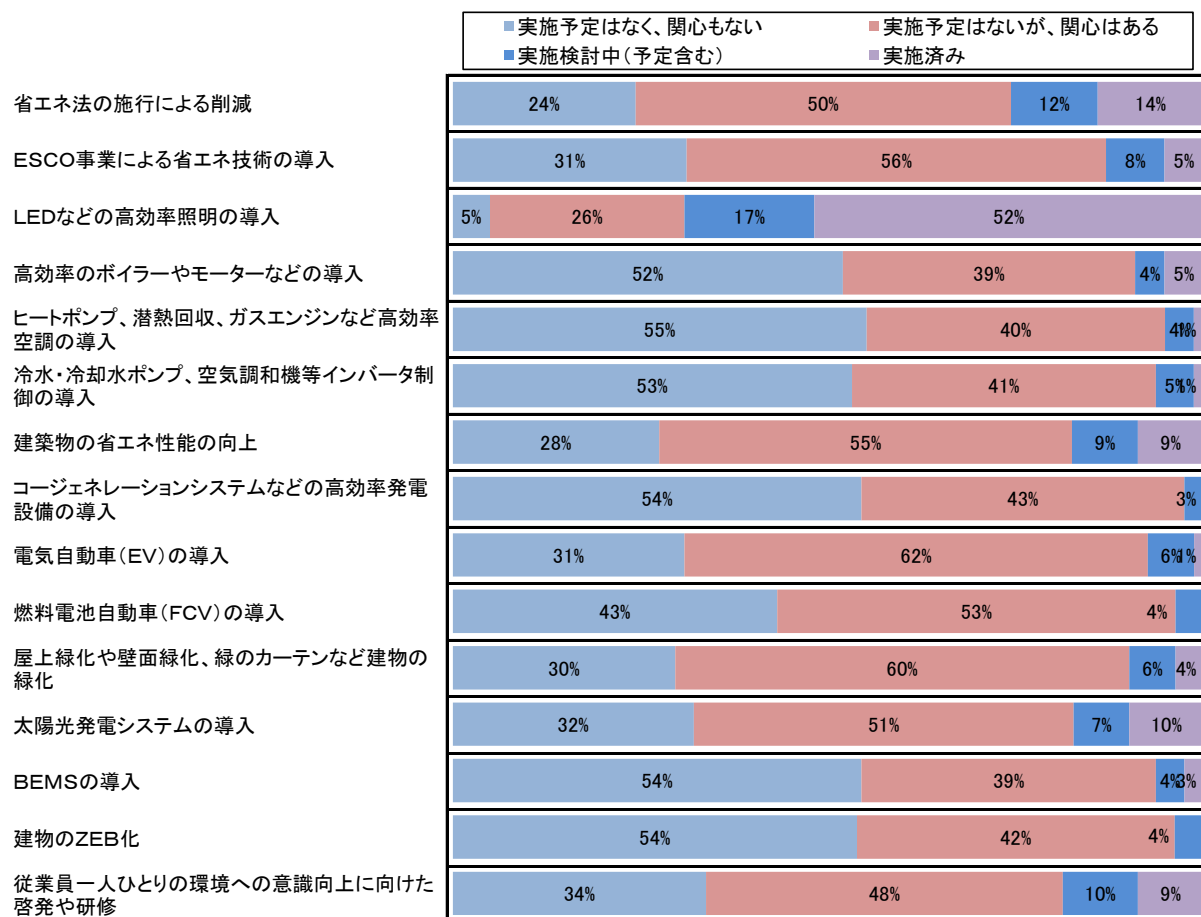


図 3-10 省エネ設備・再生可能エネルギーの導入状況

問7 今後の伊予市が行う様々な環境行政施策についてお伺いします。行政が、特に優先して取り組むべき施策は、何だとお考えですか。特にあてはまる番号を3つまで選んで○で囲んでください。

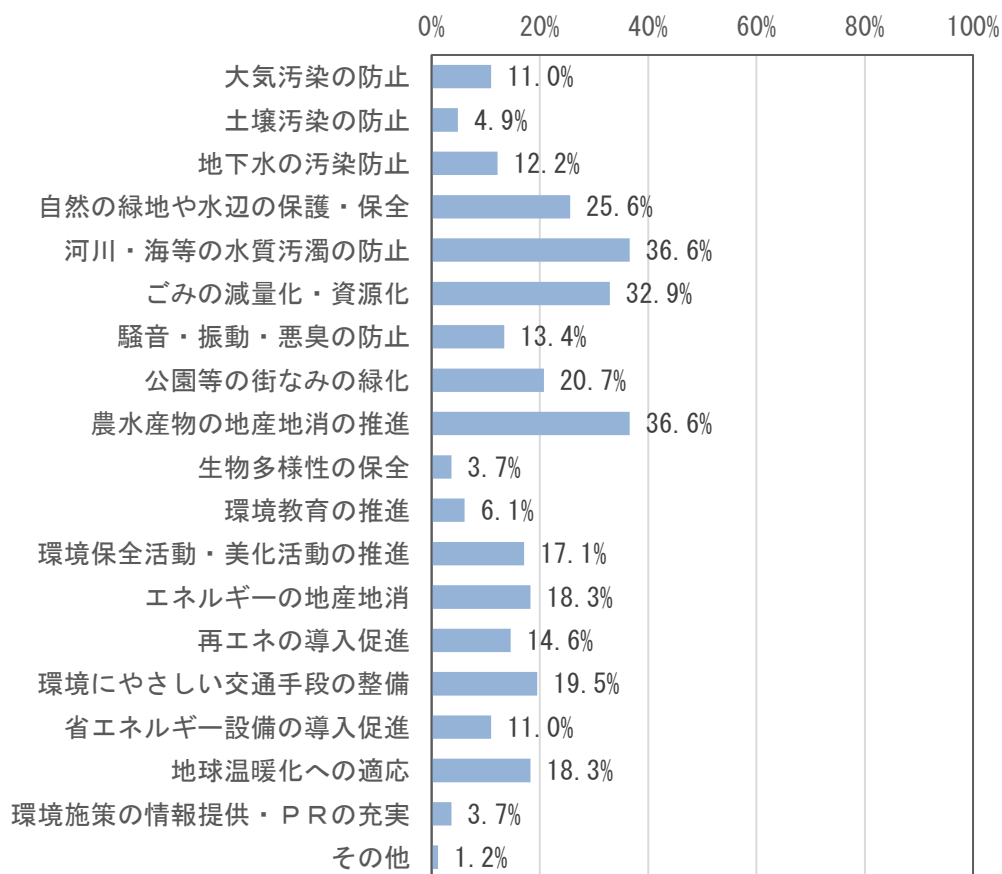


図 3-11 優先して取り組むべき施策

「その他」回答内容

内容

教育、昔で言う道徳。

問 8 再エネの利用方法についてお尋ねします。今後、伊予市において再エネを推進していく場合、どのような導入方法を望まれますか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

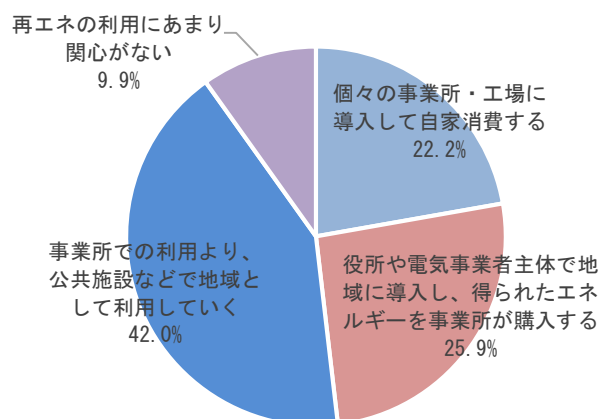


図 3-12 希望する再エネの導入方法

問 9 問 8 で「1. 個々の事業所・工場に導入して自家消費する」を選んだ方にお尋ねします。再エネの導入に際し、伊予市に期待する支援はなんですか。あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください。

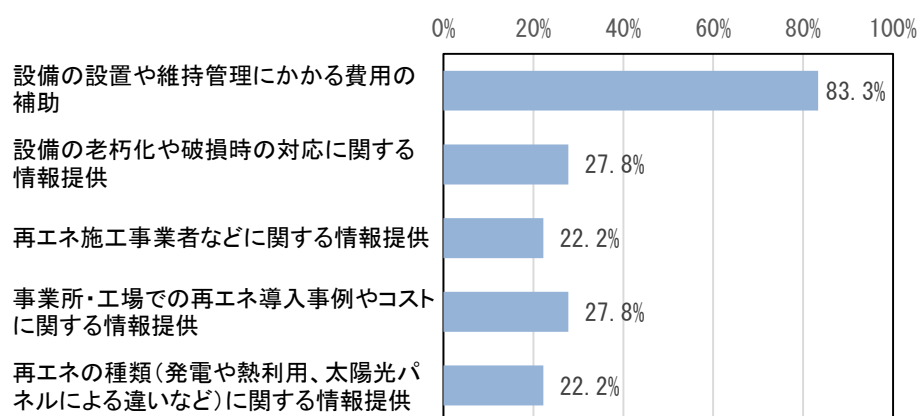


図 3-13 再エネ導入の際に伊予市に期待する支援

問 10 伊予市において、既に地球温暖化の影響を受けていると感じるものについてお尋ねします。あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください。

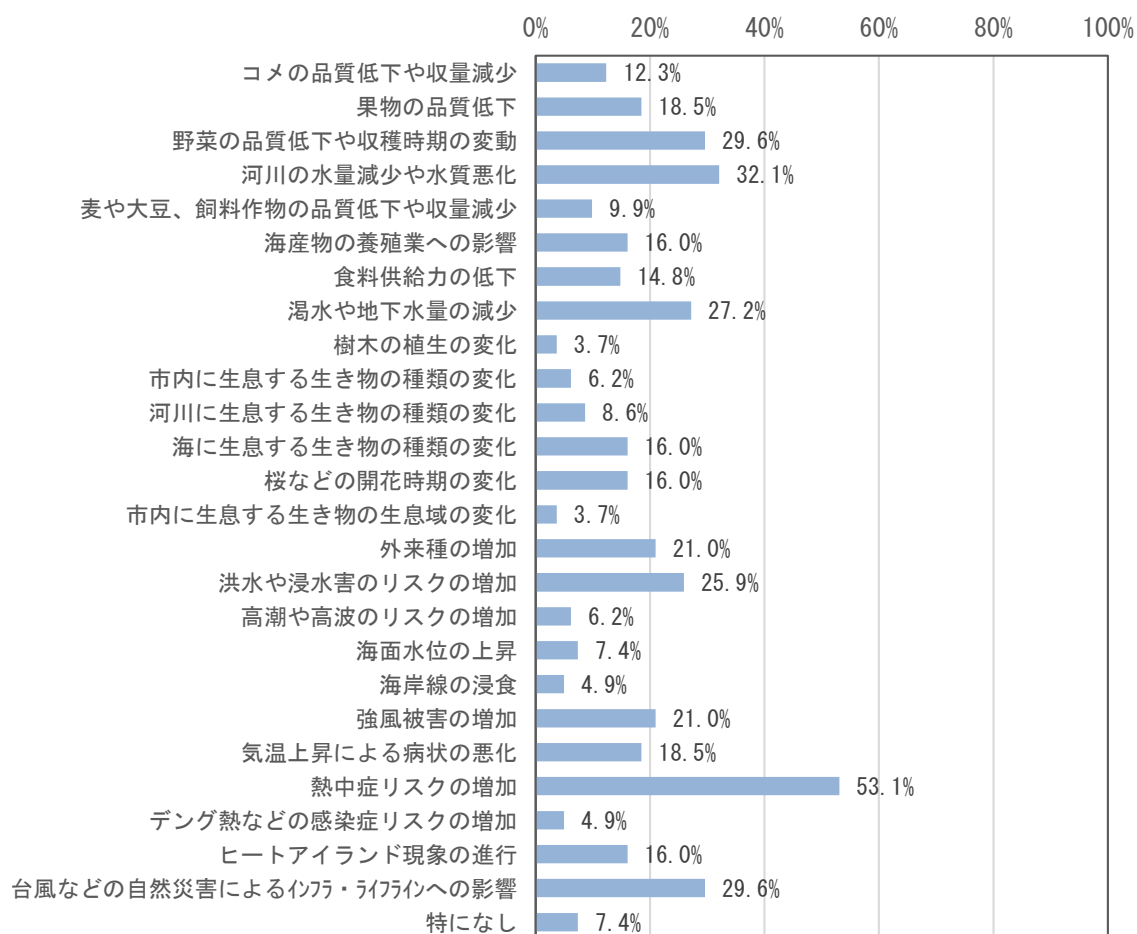


図 3-14 伊予市における気候変動の影響

問 11 地球温暖化の影響について、伊予市で今後、重点的に対策していくべき事項についてお尋ねします。あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください。

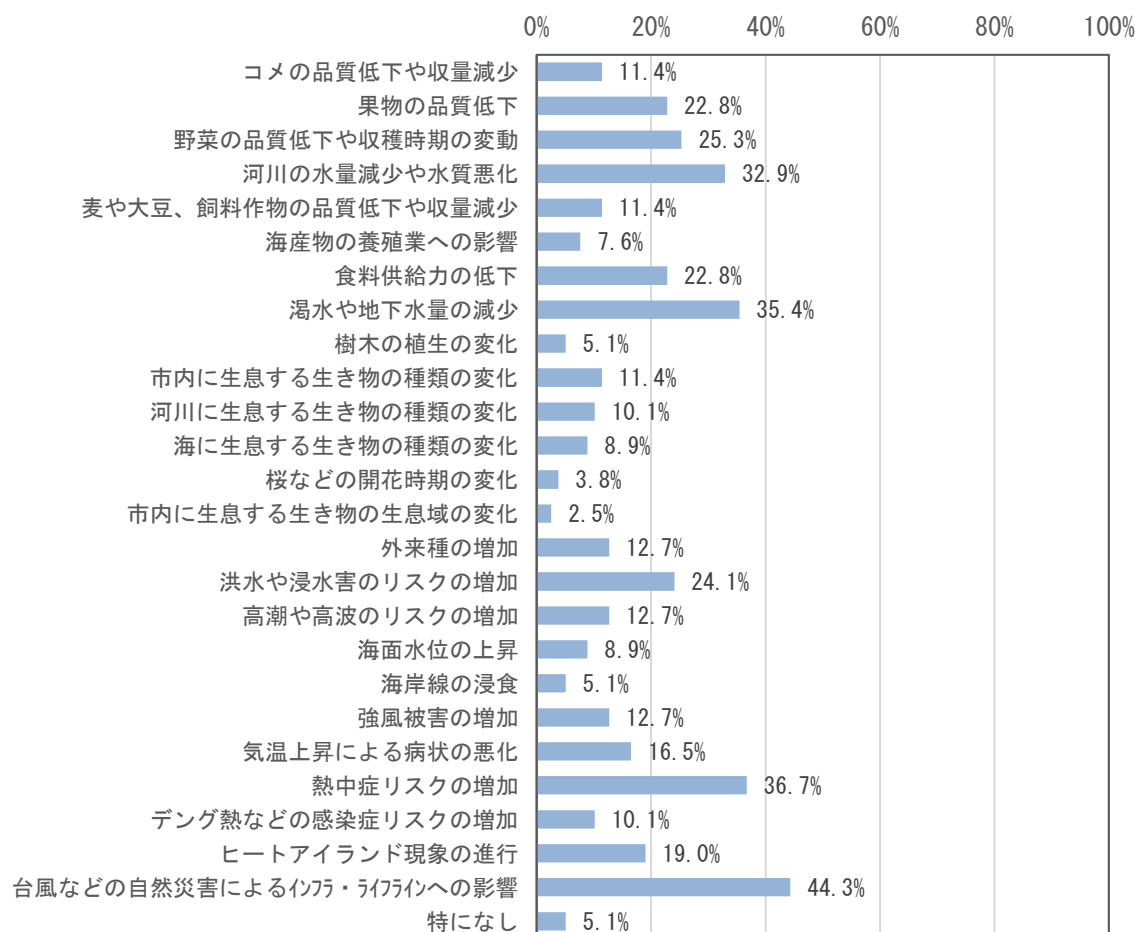


図 3-15 重点的に対策すべき影響

問 12 伊予市は、令和 4 年 3 月 1 8 日市議会定例会において、2050 年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言しました。貴事業所では、2050 年カーボンニュートラル達成を目指す上で、どのような対策を考えていますか。あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください

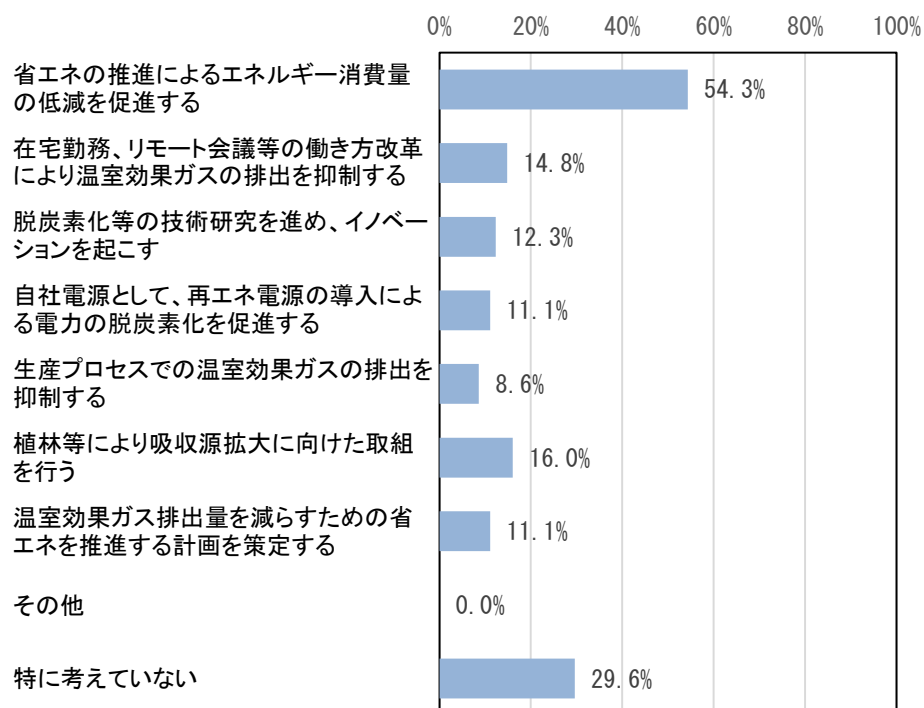


図 3-16 カーボンニュートラル達成に向けて考えている対策

問 13 どの媒体で情報提供を行うとわかりやすいですか。最もあてはまる番号を3つまで選んで○で囲んでください。

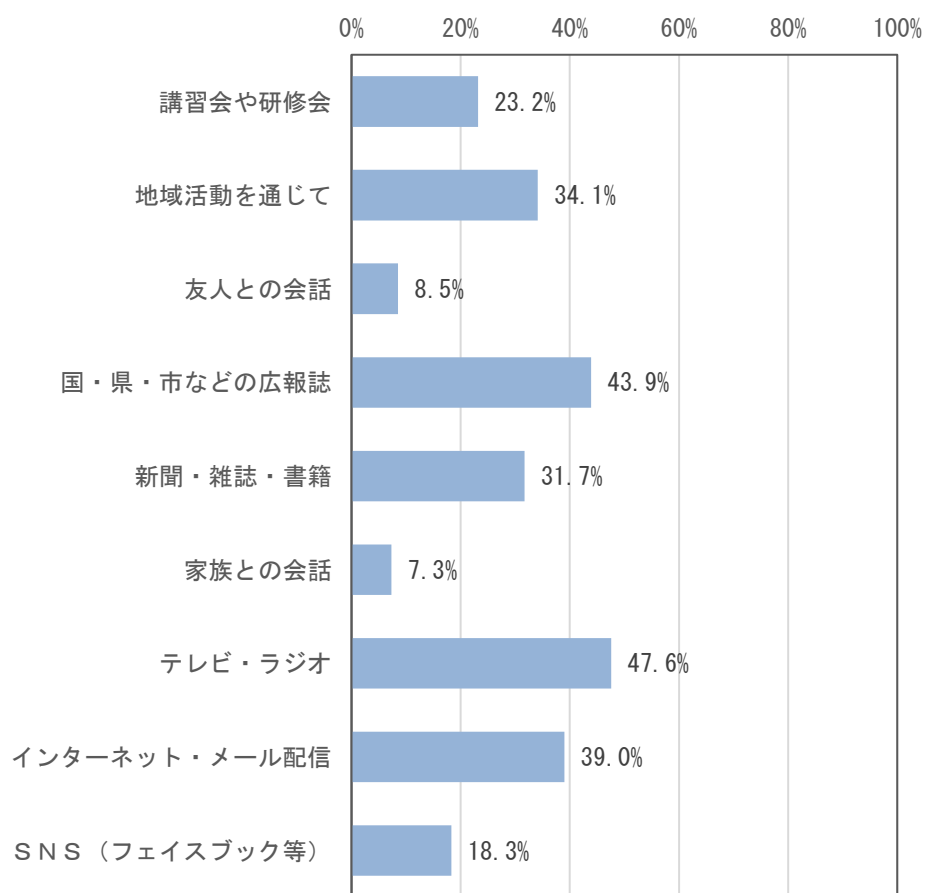


図 3-17 わかりやすい情報提供の方法

問 14 最後に伊予市の環境行政へのご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

回答内容

内容

国道や海にナイロン袋に入れたごみがあります。ナイロン袋に入れたごみはどうしようもない。これらの指導(捨てない)。

市役所の省エネをまず行ってください。夏期は便座(温)や温水いらない。男性の上衣もクールビズで。

エネルギーの地産地消の件で、コンビニやパチンコ店等はソーラーを付けるべし。

温暖化で以前は南予地方の問題だったマダニがここ3年くらい前から当地で増え多くの人が咬まれている。私も2回病院に行った。公報で注意喚起を。

耕作放棄地にブタクサ、セイタカアワダチソウが茂って喘息のもとになっている。

伊予川内線の近くに住んでいるが、ここ最近トラックの量が増え、騒音、振動、大気汚染がひどくなっているように感じる。改善を願いたい。

事業所、事務所内に緑を入れることを推進して欲しい。

環境云々以前の問題で皆様、自分が可愛いだけです。ゴミ捨て場や食べ物の扱い方お金の使い方を見ればよく分かります。自分が良ければそれで良いという自分勝手な考えが根本にあるのでは？ごみの分別はしない、食べ物を平気で足元に置く、お金は財布ではなくポケットから出てくる。要は人様の迷惑や不快を考えていない。押し付けたくはないですが、私は基本的に「人様に生かしてもらっている」考えです。いくら市が前向きに考え行動しても住民の方々の考えが変わらなければ。市の率先垂範も大事ですが学校教育から考え直していただきたいです。小さなことを大事に出来ない人に大きなことは大事にできません。

住民の意識向上。

伊予市は行政の方々のおかげでよい環境に恵まれ住みよい町だと思います。いつもご苦労様です。

一人ひとりの意識をもっと高めていく必要があります。学校など幼少期から知り、深めていくことが大切だと思います。